

# 中国延吉市の朝鮮族学生の朝鮮語 —韓国語と対照した語彙的・文法的特徴について—

柴 公也  
熊本学園大学

## I. はじめに

筆者は、2005年9月から2006年2月までの半年間、中国吉林省延辺朝鮮族自治州の州都延吉市にある延辺大学の中朝韓日文化比較研究センターの客員研究員として、朝鮮族の言語を研究する機会に恵まれている。わずか半年という短い期間ではあったが、その間に延吉市在住の朝鮮族の学生の朝鮮語の話し言葉に関して調査した結果を、筆者の勤務する大学の海外事情研究所の紀要『海外事情研究』第35巻第1号（2007年9月）に発表している。

本稿は、その後、2008年の4月から5月の春の連休を利用して1週間ほどインフォーマント調査したのを皮切りに、2015年の春の連休に最終の調査を終えるまで、毎年春の連休と9月中旬の夏休みのそれぞれ1週間ほどを延吉に滞在して、三～五人の学生たちと放課後に一日2～3時間の調査を繰り返し、前稿では不正確で不十分であった点を訂正して補充したものである。

前稿では延辺朝鮮語の単語や文法的形式について、主に二つの方法で収集している。一つは、参考文献の論文に挙げられた単語や文法形式に関して、学生たちが会話で使うかどうかという基準で網羅的に収集し、同時にそれらの意味や用法の検討も行っている。もう一つは、六人の学生たちに韓国語とは違うと思われる単語や文法形式を可能な限り書き出させ、それらが実際に使われているかどうかや、それらの意味や用法を相互に検討させて収集している。

本稿では、前稿で取った二つの方法の他に、2007年の10月に女子学生三人に依頼して、学生寮での談話を60分用のテープに4本録音し、それを原稿に起こした資料から、普通に使われる単語や文法的形式を収集するという方法を取っている。そうして収集して検討した単語や文法的形式は、2015年の春の連休を利用した最後のインフォーマント調査で、実際に会話で使われるかどうかという基準で三人の学生たちに再検討を依頼している。そのため、前稿から削除されたものがあるが、新たに追加されたものも少なくない。同時に、2015年の5月に、熊本学園大学に留学している韓国人の男女学生二人に依頼して、それらの単語や文法形式が韓国の学生たちには通常使われないということを確認したものが本稿である。

もともと延吉市の朝鮮族の学生は、19世紀の中葉から20世紀の中葉まで

に、朝鮮東北部の咸鏡北道（\*以下の行政区域名は、便宜上韓国における名称を用いている）から移住して来た者たちの子孫が大多数なので、その朝鮮語は、咸鏡北道方言（\*この方言では、北部の会寧郡・鍾城郡・穩城郡・慶源郡・慶興郡の方言を六鎮方言、南部の鏡城郡・明川郡・吉州郡・鶴城郡の方言を四邑方言として別に区分する場合が多い<sup>(1)</sup>）。四邑方言は、南に隣接する咸鏡南道方言と共通する点が多いが、六鎮方言は、多くの点で他の地域の咸鏡道方言とは異なった特徴を有している。また、両者の中間に位置する富寧郡と茂山郡は両方言の遷移地帯となっている）の特徴を多く留めている。

ただ、そうは言っても朝鮮族の学生の先祖の中には、少数とはいえ、咸鏡北道以外の地域、例えば咸鏡南道や平安道はもちろん、南部の慶尚道や全羅道、あるいは中部の黄海道・京畿道・忠清道・江原道などから移住して来た者もあり、咸鏡北道以外の方言の影響も全くは無視できないであろう。

特に、朝鮮時代の初期に、本来女真人の居住していた咸鏡道が新たに朝鮮の版図に編入された際、慶尚道の住民を咸鏡道に移住させたという歴史的事実を考慮するなら、延辺朝鮮語の単語や文法的形式の中に、遠く離れた慶尚道方言のそれらと類似するものが残存していたとしても、何ら不思議ではないであろう。

また、延辺の朝鮮族の小学校や中学校では、主として文化語（\*1966年に、当時の北朝鮮の金日成主席の指示によって、平壤の言葉を基にして作られた北朝鮮の標準語）を模した朝鮮語で教育を行っているため、その文化語の影響も少なからず受けている。

その一方で、1992年の中国と韓国の国交樹立以来、韓国との交流が盛んになって衛星放送で韓国のドラマを視聴している者も多くなり、韓国語の影響も次第に大きくなって来ている。このように、現在の延吉市の朝鮮族の学生の用いている朝鮮語は、朝鮮半島内の朝鮮語（\*以下、単に「朝鮮語」と言えば韓国語を含めた朝鮮半島内の朝鮮語を指す）の標準語、及び多くの方言の影響を受け、さらに、朝鮮族の置かれている社会的条件から中国語の普通語（\*北京官話を基にして作られた共通語）の強い影響を受けて成立したものである。ただ、それでも咸鏡北道方言を基にして成立した朝鮮語の一方言（\*以下、延辺朝鮮語と称する）であることには異論はなからう。

さて、そのようにして成立した延辺朝鮮語ではあるが、学生たちの言語生活は、どのようなものであるかと言うと、家庭では、祖父母などが健在の場合、先祖の出身地の方言の影響の残る延辺朝鮮語を用いる場合もあるという。また、朝鮮族の友人たちと会話を交わす際は、朝鮮各地の方言の影響を受け、さらに中国語の普通語や英語の影響を受けた延辺朝鮮語を使用し、一方、韓国人（\*現在、延辺大学には北朝鮮からの留学生はいないが、韓国からの留学生は多数在籍している）や韓国語を解する外国人とは韓国語を模した延辺朝鮮語を使うというのが一般的なようである。

従来、この延辺朝鮮語についての研究は、咸鏡北道方言に関する研究の一環として行われたものが大部分であった。つまり、現在の政治状況においては、研究者が直接咸鏡北道に入って言語調査を行うことは困難なため、便宜上延辺に在住している年配の咸鏡北道方言の話者を対象にして行われたものが多く、その際、副次的に延辺の年配の朝鮮族の延辺朝鮮語に言及するというものが大部分であったということである。そのため、若い朝鮮族の学生の延辺朝鮮語、特に話し言葉に焦点を当てた研究は、ほとんどなされて来なかったと言っても過言ではないであろう。

本稿は、この点に鑑みて、延吉市在住の朝鮮族の学生が普段の生活で用いている延辺朝鮮語の話し言葉がどのようなものであるのかを、韓国語と共通する言葉は別にして、主に語彙的、文法的な面から解明しようとしたものである。その際、従来の論文などの文献的資料だけを参照するのではなく、実際に朝鮮族や韓国人の学生をインフォーマント<sup>1)</sup>として、朝鮮族の学生が話し言葉で用いる延辺朝鮮語の分析を試みている。

## II. 語彙的特徴

さて、次に筆者が収集した、韓国語では通常用いられないが、延吉市の朝鮮族の学生たちには普通に使われている延辺朝鮮語の主な単語を列举すると、以下ようになる。配列は、延辺朝鮮語を前に韓国語を後に示したが、例えば「고애 (四 ; 猫) / 고양이」のように、その語が朝鮮語の方言や文化語に由来していると思われる場合は、丸括弧の中にそれらの朝鮮語の方言の略称と、その語に対応する日本語を、明白でない場合は「？」と、その語に対応する日本語を、また、借用語の場合のように他の言語に由来している場合は、原語と思われる語と、その語に対応する日本語を表示している。異形態のある語については、「역(력)세」のように、その部分を( )で示している。

また、それらの朝鮮語の方言の略称であるが、参考文献に挙げた各種の辞典に基づいて、「四」は主に四邑地方の方言を、「六」は主に六鎮地方の方言を、「咸」は両地域に亘る咸鏡北道方言を、「平」は平安北道方言を、「文」は文化語を、「韓」は韓国語を、それら以外は「江原」のように道名で方言名を表示している。

延辺朝鮮語が中国語や英語などに由来していると思われる場合には、「관즈 (管子 ; パイプ) / 파이프」や「라지오 (英 : radio ; ラジオ) / 라디오」のように、丸括弧の中にその原語とその語に対応する日本語を表示している。また、日本語に由来していると思われる場合には、「메가네 (眼鏡) / 안경」のように丸括弧の中に対応する日本語を表示している。

II-1 a. 名詞; 朝鮮語やその方言に由来すると思われる語 (\*この場合、本来は外国語であるが、現在は外来語として意識されていない、中国語に由来する「배채」や、モンゴル語に由来する可能性のある「사분」のような語も含む。また、配列は韓国語の가나다順であるが、数詞と日数に関しては便宜上、別項で数字の順に配列してある)

가 (咸・平; その子・あの子) / 그 아이, 가래토시 (咸; マンシュウグルミ) / 가래, 가매 (咸; 釜) / 가마술, 가매목 (咸; 台所) / 부뚜막, 가새 (咸; 鋏) / 가위, 가시아버지 (文; 妻の父) / 장인, 가시아머니 (文; 妻の母) / 장모, 각띠 (咸; 腰帶) / 허리띠, 간나 (六; 娘) / 계집아이, 감재 (咸; ジャガイモ) / 감자, 거마리 (咸・文; 蛭) / 거머리, 경지 (? ; 料理の具) / 건더기, 게거리 (? ; 食い意地) / 계걸, 계사니 (六; ガチョウ) / 거위, 고애 (四; 猫) / 고양이, 고치 (四; 唐辛子) / 고추, 고파 (文; 周\*回る回数を数える助数詞) / 바퀴, 고태기 (? ; 黴) / 고평이, 곱밥 (文; 弁当) / 도시락, 구들 (文; 床\*咸では「온돌」) / 바닥, 구빈도리 (文; 道の曲がり角) / 길 모퉁이, 구새 (咸; 煙突) / 굴뚝, 궁개 (咸; 穴) / 구멍, 귀떡재 (咸; 鬻者) / 귀머거리, 귀빵울 (文; 耳たぶ) / 귓볼, 귀우비개 (咸; 耳搔き) / 귀이개, 귀채 (咸; 耳垢) / 귀지, 글페 (四; しあさって) / 글피, 금노일 (? ; 金曜日) / 금요일, 기토 (? ; びんた) / 뽕따귀, 까마치 (? ; ご飯のお焦げ\*四・文では「가마치」) / 누룽지, 까지 (咸; 茄子) / 가지, 각재 (? ; けち\*咸では「각쟁이」) / 각쟁이, 쟁치 (? ; おり) / 양금, 껍지 (咸; 皮) / 껍질, 꼬꾸방질 (? ; 逆さまに落ちること) / 곤두박질, 꼬디 (? ; 怒り) / 노여움, 꼬랑대 (? ; しっぽ\*六では「꼬랑대기」) / 꼬리, 꾸레미 (咸; 包み) / 꾸러미, 꼬개신 (? ; サンダル) / 슬리퍼, 꼬스개 (? ; スリッパ・サンダル) / 실내화・슬리퍼, 나그네 (? ; 中年の男性\*韓・文では「旅人」) / 중년 남자, 나치 (? ; 顔) / 낫, 난시 (? ; 大騒ぎ) / 야단 법석, 낭기 (咸; 木) / 나무, 내굴 (咸・文; 煙) / 연기, 네리 (? ; 明日\*咸では「넬」) / 내일, 노란자시 (咸; 卵の黄身) / 노른자위, 노배 (咸; 大根) / 무우, 노치 (咸; 老婆\*語源は中国語の「老亲」か?) / 노파, 누기 (咸; 誰) / 누구, 눅거리 (咸・文; 安物) / 싸구려, 눈뽕재 (咸; 目やに) / 눈곱, 눈떡재 (? ; 盲人\*六では「눈떡장」) / 맹인, 눈초리 (? ; まつ毛) / 속눈썹, 눈물 (咸; 涙) / 눈물, 단치 (四; ボタン) / 단추, 달걀 (四; 鶏卵) / 달걀, 당날 (? ; 当日) / 당일, 대티 (? ; うなじ) / 목덜미, 더덜기 (咸; 蔓人參) / 더덕, 도두기 (四; 泥棒) / 도둑, 도투마이 (? ; 意地悪) / 심술쟁이, 돈까방 (四・文; 財布) / 지갑, 돈뽕거지 (? ; 겐지겐지) / 그리마, 동집 (? ; 同い年) / 동갑, 동미 (四; 友達) / 친구, 두비 (咸; 豆腐) / 두부, 둥기 (咸; 甕) / 독, 뒤띠 (? ; 後ろ側\*咸では「後頭部」) / 뒤쪽, 뒤짚드리

(? ; 背中\*文では「뒤짚등」) / 등, 따대 (? ; かさぶた) / 딱지, 딱잡재 (? ; けち) / 구두쇠, 딱친구 (文 ; 親友) / 절친한 친구, 때 (文 ; 食\*食事の度数を数える助数詞) / 끼, 띠개 (四 ; 蓋) / 뚜껑, 땡때 (六 ; 食器棚) / 살강, 류겔 (? ; 六月\*咸・文では「류월」) / 유월, 마다매 (咸 ; 父の兄の妻) / 큰어머니, 마다바이 (咸 ; 父の兄) / 큰아버지, 망태기 (? ; めちゃくちゃ) / 엉망, 매대 (文 ; 売り場) / 매장, 머거리 (? ; 餌) / 먹이, 머리꽂개 (? ; 髪飾り) / 머리꾸미개, 머리카 (咸 ; 髪) / 머리카락, 머리매개 (? ; 髪を結わせるゴム) / 머리끈, 머리물감 (? ; 白髪染め) / 백발 염색약, 멋따개 (? ; おしゃれな人) / 멋쟁이, 메긴바지 (? ; 吊り紐の付いているズボン) / 멜빵바지, 메사기 (? ; 鯰) / 메기, 메지 (咸 ; 味噌玉) / 메주, 맥장물 (? ; わかめスープ) / 미역국, 멘내 (四 ; オンドルから漏れてくる煙) / 굴내, 모기장 (? ; 網戸\*韓では「蚊帳」) / 망창, 모까 (? ; 沐浴\*咸や慶尚では「목강」) / 목욕, 모재 (咸 ; 帽子) / 모자, 모캐 (? ; 付近) / 근처, 모태 (? ; 付近\*江原では「모태」) / 근처, 목수건 (咸・文 ; マフラー) / 목도리, 목책 (咸 ; ノート) / 공책, 몽디 (江原 ; 棒) / 몽둥이, 무끼 (咸 ; 大根) / 무우, 무르피 (? ; \*咸では「무릎」) / 무릎, 무스거 (六 ; 何) / 무엇, 무슨들레 (咸 ; たんぽぽ) / 민들레, 문빨 (? ; カーテン\*韓では「すだれ」) / 커튼, 물뚱기 (咸 ; 水瓶) / 물동이, 물통기 (? ; 水疱) / 물집, 밀갈기 (咸 ; 小麦粉) / 밀가루, 바람재 (? ; 浮気者\*文では「바람쟁이」) / 바람둥이, 발개도리 (文 ; やんちゃ坊主) / 장난꾸러기, 발뒤축 (四・文 ; かかと) / 발뒤꿈치, 발랑개비 (咸 ; 風車) / 바람개비, 밥가매 (마) (平 ; 釜) / 밥솥, 밥푸개 (咸 ; しゃもじ) / 주걱, 배때 (咸 ; 腹) / 배, 배채 (咸 ; 白菜\*語源は中国語の「白菜」) / 배추, 버버리 (咸・平・慶尚・全羅 ; 啞) / 병어리, 벌거지 (咸・文 ; 虫) / 벌레, 베이 (咸 ; 病氣) / 병, 뽕사리 (咸・文 ; 瓶) / 병, 보배 (? ; テントウムシ) / 무당벌레, 보슴털 (文 ; 産毛) / 솜털, 부스개 (咸 ; 籠) / 아궁이, 불기 (咸 ; チシャ) / 상추, 비늘 (四 ; ふけ) / 비듬, 뻘꿀 (? ; びり) / 꿀찌, 뻘끼손가락 (? ; 小指) / 새끼손가락, 뻘대 (六 ; 骨) / 뼈, 뽕드라지 (咸 ; ニキビ\*咸では「吹き出物」) / 여드름, 뽕베 (? ; 引き出し) / 서랍, 뽕록개 (? ; 風船\*咸では「シャボン玉」) / 고무풍선, 사둔 (咸 ; 結婚した両家の親同士の呼び名\*語源はモンゴル語の姻戚を意味する「sadun」か?) / 사둔, 사척 (? ; 方々) / 사척, 살기 (咸 ; 杏の実) / 살구, 삼추이 (? ; おじ) / 삼촌, 새각시 (文 ; 新妻) / 새색시, 새기 (咸 ; 若い女性) / 색시, 새비 (咸 ; エビ) / 새우, 생지 (咸 ; ふきん) / 행주, 선생 (咸 ; 先生) / 선생, 세꼬 (? ; 鏡\*咸では「색경」) / 거울, 세때 (? ; 鉄) / 쇠, 세피 (咸 ; 口髭) / 콧수염, 세치네 (咸 ; 淡水魚) / 민물고기, 소곰재 (咸 ; トンボ) / 잠자리, 소래 (咸・文 ; たらい) / 대야, 소밭쪽 (文 ; 牛のひづめ) / 쇠발굽, 소비돈 (六 ; 小遣い) / 용돈, 소캐 (咸 ; 綿) / 솜,

소캐옷 (? ; 綿入れの衣服 \* 咸では「소캐우티」であるが、「우티」の語源は満洲語の衣服を意味する「etuku」の語根「etu」) / 솜옷, 소탕 (? ; 牛肉のスープ) / 설렁탕, 속뻘 (文 ; 下着) / 속옷, 손목걸이 (文 ; 腕輪) / 팔찌, 손칼 (文 ; 小刀) / 주머니칼, 손톱마르개 (? ; マニキュア) / 매니큐어, 수갑 (咸・文 ; 手袋 \* 韓では「手錠」) / 장갑, 술기 (咸 ; 車) / 수레, 승 (文 ; 欠点) / 흥, 쉼떡 (? ; 粳米で作った餡餅) / 송편, 승애 (四 ; 山犬) / 승냥이, 시간 (? ; 授業 \* 咸・文・韓では「時間」) / 수업, 시내들어 (? ; 買い物) / 쇼핑, 시라지 (咸 ; 干葉) / 시래기, 시리떡 (? ; 粳の粉の蒸し餅 \* 四では「시루떡」) / 백설기, 시시껍질 (? ; あれこれ) / 이것저것, 신끈 (? ; 靴の紐 \* 文では「신끈」) / 구두 끈, 신다리 (咸 ; 太もも) / 넓적다리, 신발마치개 (? ; 靴の中敷き) / 깔창, 실랑재 (咸 ; 新郎 \* 文では「신랑쟁이」) / 신랑, 십월 (? ; 十月) / 서월, 쎄퍼 (? ; チシャの葉にご飯を包んで食べること) / 보쌈, 쎄쓰개 (四 ; 狂人) / 미치광이, 썩살 (咸・文 ; 手や足のたこ) / 굳은살, 썩장 (六 ; 味噌の一種) / 청국장, 아다모끼 (文 ; 特に女がわがままで自分勝手なこと) / 마구잡이로 역지를 부리는 것, 아매 (咸 ; おばあさん) / 할머니, 아바이 (咸・文 ; おじいさん) / 할아버지, 아재 (咸 ; おば) / 고모・이모, 아즈마이 (四 ; おばさん) / 아주머니, 양카이 (咸 ; 妻) / 아내, 앞치매 (四 ; エプロン) / 앞치마, 야 (咸・平 ; この子) / 이 아이, 양머리 (平 ; 縮れ毛) / 곱슬머리, 양쪽 (? ; 両側) / 양쪽, 양태 (? ; お下げ髪) / 땅아 늘어뜨린 머리, 어간 (咸・文 ; 間) / 사이, 어나 (? ; 誰 \* 年上の者が年下の者に対して使う) / 누구, 얼마 (咸・平 ; いくら) / 얼마, 영치 (咸・文 ; 尻) / 엉덩이, 여끼 (咸 ; 狐) / 여우, 역(력)세 (四 ; カレンダー \* 語源は中国語の「曆書」) / 달력, 열콩 (? ; インゲン豆) / 강낭콩, 염지 (咸 ; 菹) / 부추, 오그랭죽 (? ; 小豆粥 \* 咸では「오구랑죽」) / 팥죽, 오막 (? ; 惚け) / 노망, 옥시 (四 ; トウモロコシ) / 옥수수, 옥시티개 (? ; ポップコーン) / 팝콘, 옷걸개 (文 ; ハンガー) / 옷걸이, 왜지 (咸 ; 스톨) / 자두, 외고풀 (? ; 一重まぶた) / 외꺼풀, 왼손재 (? ; 左利き \* 咸では「왼손재비」) / 왼손잡이, 윈디 (? ; エンドウ) / 완두, 윈쭈 (咸・文 ; 仇) / 윈수, 월료일 (? ; 月曜日) / 월요일, 유끼 (四 ; 伝統的な遊びのユンノリに使う木で作った道具) / 윗, 이때 (咸 ; 額) / 이마, 이사 (四 ; 医者) / 의사, 일료일 (? ; 日曜日) / 일요일, 자 (咸 ; あの子) / 저 아이, 자라이 (? ; 大人 \* 咸・文では「자란이」) / 어른, 잔더리 (四 ; 背なか) / 등, 잔채 (四 ; 祝賀の宴) / 잔치, 장매걸레 (? ; モップ) / 대걸레, 장물 (咸 ; 스푼) / 국물, 적삼 (? ; 와이셔츠 \* 文・韓では「초고리의一種」) / 와이셔츠, 점재 (? ; 占い師 \* 咸では「점쟁이」) / 점쟁이, 주먼지 (四 ; 袋) / 주머니, 줄뛰기 (文 ; 縄跳び) / 줄넘기, 줄말 (文 ; シマウマ) / 얼룩말, 즈쌀 (咸 ; 格好) / 모습, 지미 (咸 ; 皮膚のしみ) / 기미,

짜개바지 (文; 子供のはく股の所が裂けているズボン) / 어린애가 입는  
 가랑이가 찢어진 바지, 쨌내비 (?; 猿・ずるがしこい人\*文・四では「쨌  
 내비」) / 월송이・간사한 사람, 쪼각달 (文; 三日月\*文では「陰曆五日  
 目頃か二十五日目頃の月」) / 초생달, 쪼꼬매 (?; ちび\*文では「쪼꼬매  
 이」) / 꼬맹이, 참대곰 (文; 판다) / 뽀다, 창문뽀 (?; 카-텐) /  
 커튼, 채지 (?; 大根を細長く切って作ったキムチ) / 무우김치, 책뚜껑  
 (文; 本の表紙やカバー) / 표지・책가위, 초두비 (?; 豆腐料理の一種)  
 / 순두부, 촌아 (?; 田舎者\*韓では「촌아이」で「田舎の子供」) / 촌뜨  
 기, 춤 (咸; 唾) / 침, 층집 (?; 아파트\*文・韓では「二階建て以上  
 の家」) / 아파트, 치매 (咸; 스카-트) / 치마, 치솔 (文; 歯ブラシ) /  
 칫솔, 칼치 (咸・文; 太刀魚) / 갈치, 켜 (文; 側) / 편, 코따대 (咸; 鼻  
 くそ) / 코딱지, 코플레기 (?; 漢垂れ小僧) / 코흘리개, 쿠린내 (咸; 臭  
 いにおい) / 구린내, 택 (咸; 顎) / 턱, 파이 (咸; 네기) / 파, 께끼 (咸;  
 しゃっくり) / 딸꾹질, 께기 (咸; 小豆) / 팥, 피탈 (咸・文; 口実) / 핏  
 게, 한잠 (?; 一休み) / 잠깐 쉽, 한제 (?; 外\*咸では「한지」) / 밖,  
 해머 (咸; おかず) / 반찬, 해자불 (四; 히마ワリの種) / 해바라기씨,  
 허물 (四・文; 傷跡) / 상처 자국, 화토 (?; 花札) / 화투, 흰살 (文;  
 脂身) / 비계, 흰자시 (咸; 卵の白身) / 흰자위

【数詞と日数は、以下のように、便宜上、数字の順に配列】

한나 (咸・平; 一つ) / 하나, 서이 (咸; 三つ) / 셋, 너이 (咸; 四つ) /  
 넷, 다섯 (四; 五つ) / 다섯, 여섯 (四; 六つ) / 여섯, 여들 (?; 八つ  
 \*咸では「야들」) / 여덟 (\*以上の数詞は、「イチ、ニ、サン、シ」のよ  
 うに号令を掛ける場合には、韓国語でも使われるが、「ヒトツ、フタツ、ミ  
 ツツ」のように個数を数える場合には韓国語では使われない), 할날 (?;  
 一日) / 하루, 두날 (?; 二日) / 이틀, 세날 (?; 三日) / 사흘, 네날 (?;  
 四日) / 나흘, 다섯날 (?; 五日) / 다섯, 여섯날 (?; 六日) / 여섯,  
 일곱날 (?; 七日) / 일곱, 여덟날 (?; 八日) / 여덟, 아홉날 (?; 九  
 日) / 아홉, 열날 (?; 十日) / 열

以上、韓国語では通常使われないが、朝鮮語に由来すると思われる延辺朝  
 鮮語の名詞は、総計で 270 語である。これらの中には、「가매목」、「평때」、  
 「메지」、「뎌내」、「물똥기」、「부스께」などのように、最近では指示  
 物が見当たらなくなったために普段は用いられない語もある。ただ、時代物  
 のテレビドラマなどに現れた場合には、自然に使えるとのことであるから削  
 除はしていない。

もちろん、以上の語で全てと言うわけではなく、ここに収集されなかった  
 語も少なくないが、それでも概略以下のような点が指摘できるものと思われ

る。

まず、朝鮮語との関係であるが、予想した通り四邑方言と六鎮方言を含めた咸鏡北道方言に由来すると思われるもの（\*この場合、「머머리」のように、咸鏡北道方言だけではなく、平安道方言や慶尚道方言・全羅道方言にも重複して由来していると思われるものも含む。以下、他の場合も同様である）が、133語と圧倒的に多く、全体の半数近くを占めている。その中で、主に四邑方言に由来すると思われる語は27語、主に六鎮方言に由来すると思われる語は7語である。この結果は、延吉市とその周辺の地域の朝鮮族の先祖の大多数が咸鏡北道、特に四邑地方から移住して来たという歴史的事実を考慮するなら、至極当然の結果と言えよう。

次に目を引くのが、文化語に由来すると思われる語が47語と六分の一強を占め、意外と多かったということであろう。しかし、これも延辺の朝鮮族の学校教育が文化語を模した朝鮮語で行われて来たという事情を考えるならば、十分納得の行く結果と言えよう。

しかし、それら以外の朝鮮語との関係は薄く、平安北道方言に由来すると思われる語が7語、江原道方言に由来すると思われる語が1語、慶尚道や全羅道方言に由来すると思われる語が1語あるだけである。一方、由来の明白でない語は105語と、かなり多く、四割弱を占めている。これらの中には、「네리/내일」のように延辺で独自に変化した語も含まれているものと思われる。

次に、それらの語の特徴であるが、形態的に韓国語と類似していると思われる語の中で目に付いたのは、咸鏡北道方言に由来するもので、「거마리/거머리」や「사둔/사둔」のように母音が変化したものであるが、特に「고척/고추」や「두머/두부」のように語末母音の「ㅌ」が「ㅍ」に交替しているものが目に付く。

これも同方言の特徴であるが、名詞が前舌母音の「ㅌ」を伴って「나치/낫」や「도두기/도독」のように開音節化しているものや、「감재/감자」のように母音が前舌化している例も見られる。

また、逆に「고애/고양이」や「자라이/자란이」のように語末子音の鼻音「ㅇ」や「ㄴ」が消失しているものも少なくない。

それと、咸鏡北道方言の特徴である、中世語の名残とも言える、一部の名詞が格変化の際に「ㅍ」の発現する現象が「밀갈기/밀가루」や「궁개/구멍」などの名詞に残っていることも指摘されよう。また、韓国語では慶尚道方言など一部の方言を除いて消失した「ㅅ」や「ㅈ」が「가새/가위」や「새비/새우」などに残存している事実も観察される。

他には、閉鎖子音が「지머/기머」のように口蓋化、「쿠린내/구린내」のように激音化、また「까지/가지」のように濃音化しているものも見受けられる。一方、「눈초리/속눈썹」や「모기장/망창」は、本来の意味が変化、



あるいは拡大した例である。昆虫などの名前では、「소곰재\*韓では소곰쟁이/잠자리」のように、本来とは違うものを指していたものが使われている例が見受けられる。

また、韓国語と関連がないと思われる語は、当然のことながら「괏빔/도시락」のように、他の朝鮮語と関連を持っているものと思われる。しかし、中には「모까/목욕」のように他の朝鮮語には見当たらないものもあり、これらは延辺で新たに生じた語である可能性も否定できないだろう。

さて、これらの韓国語では用いられなくて、文化語を除いた他の朝鮮語に由来すると思われる延辺朝鮮語の名詞は、韓国語や文化語に比較して劣位の語として意識されているせいであろうか、例えば「소곰재 (話し言葉) /잠자리 (書き言葉)」のように、通常話し言葉に良く使われ、書き言葉には余り使われない傾向があるという。

## II-1 b. 名詞；中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものに由来すると思われる語

경리 (经理；支配人) /지배인, 경색 (竞赛；試合) /경기, 고정직업 (固定职业；定職) /정직, 고찰 (考察；視察) /시찰, 공안국 (公安局；警察署) /경찰서, 공인 (工人；労働者) /노동자, 공자 (工资；給与) /월급, 공작 (工作；仕事) /일, 공정사 (工程师；エンジニア) /기술자, 과제 (菓子；ビスケット) /비스킷, 단위 (单位；職場) /직장, 당안 (档案；保存書類) /보안서류, 대방 (对方；相手) /상대방, 연계 (联系；連絡) /연락, 레모 (礼貌；礼儀) /예의, 록상 (录像；ビデオ) /비디오, 덴비 (免费；無料) /공짜, 명액 (名額；定員) /정원, 모베 (毛病；病氣・故障) /병・고장, 모어 (毛衣；セーター) /스웨터, 문건 (文件；ファイル) /파일, 문화수평 (폐) (文化水平；民度) /문화수준, 반공실 (办公室；事務所) /사무실, 보모 (保姆；家政婦) /가정부, 복무원 (服务员；従業員) /종업원, 복습반 (复习班；私設の教育機関) /학원, 사기 (司机；運転手) /기사, 서약 (西药；西洋の薬) /양약, 소품 (小品；コント) /콩트, 수발실 (收发室；守衛室) /수위실, 수페 (水平；レベル) /수준, 연구생 (研究生；院生) /대학원 학생, 오공 (蜈蚣；ムカデ) /지네, 오관 (五官；容貌) /외모, 우정국 (邮政局；郵便局) /우체국, 우점 (优点；長所) /장점, 원주필 (圓珠筆；ボールペン) /볼펜, 자동연필 (自動鉛筆；シャープペンシル) /샤프펜슬, 제강 (提綱；プリント) /프린트, 중심 (中心；センター) /센터, 지남침 (指南針；羅針盤) /나침반, 질량 (質量；品質) /품질, 채 (菜；おかず) /반찬, 채도재 (菜刀子；包丁) /식칼, 초채 (炒菜；炒め物) /볶음채, 출로 (出路；活路) /활로, 출원 (出院；退院) /퇴원, 평가 (平价；正札) /정찰, 필업 (毕业；卒業) /졸업, 함보 (汉

堡;ハンバーガー) /햄버거, 합작(合作;協力) /협력, 해관(海關;税関) /세관, 호마(号码;番号) /번호, 호사(護士;看護士) /간호사, 흥취(興趣;興味) /흥미

これらの中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものに由来すると思われる名詞はかなり多く、上記の語はその一部である。これらの名詞の中には「고찰」や「필업」のように、「하다」を伴って動詞として用いられるものもある。また、話し言葉にも良く使われるが、それ以上に書き言葉に好んで用いられる傾向があるという。

## II-1c. 名詞; 中国語を原音読みにしたものに由来すると思われる語

관즈(管子;パイプ) /파이프, 관터우(罐頭;缶詰) /통조림, 궁띠(工地;工事現場) /공사장, 궁쓰(公司;会社) /회사, 난치(暖气;暖房) /난방, 노토리\* [ㄹ] は [r] (老头儿;年寄り) /늙은이, 난후\* [ㅎ] は [h] (暖壶;魔法瓶) /보온병, 뉴자이쿠(牛仔褲;ジーンズ) /청바지, 뉴파이(牛排;ステーキ) /스테이크, 따드배채(大头白菜;キャベツ) /양배추, 따라쵸\* [ㄹ] は [l] (大辣椒;ピーマン) /피망, 따인지(打印机;プリンター) /프린터, 따팅(大厅;ロビー) /로비, 탄고(蛋糕;ケーキ) /케이크, 펜노(电脑;コンピューター) /컴퓨터, 펜디(点滴;点滴) /점적주사, 펜쓰(电视;テレビ) /텔레비전, 펜츠(電池;乾電池) /건전지, 펜티(电梯;エレベーター) /엘리베이터, 펜판귀\* [ㅍ] は [f] (电饭锅;電気釜) /전기밥솥, 판썬(短信;メール) /문자, 판쿠우(短褲;ショートパンツ) /반바지, 똥화펜\* [ㅎ] は [h] (动画片;アニメ) /애니메이션, 뛰이쌍(对象;恋人) /애인, 령꺼팅\* [ㄹ] は [l] (练歌厅;カラオケ) /노래방, 령맨\* [ㄹ] は [l] (冷面;冷麵) /냉면, 로판\* [ㄹ] は [l] (老板;経営者) /경영자, 로판냥\* [ㄹ] は [l] (老板娘;女性経営者・自営業者の夫人) /여성경영자・자영업자의 부인, 환짚\* 「환」의 [ㄹ] は [r] であるが、「짚」의 [ㄹ] は通常 [l] (软件儿;ソフトウェア) /소프트웨어, 류망\* [ㄹ] は [l] (流氓;ごろつき) /망나니, 마라쑹\* [ㄹ] は [l] (马拉松;マラソン) /마라톤, 만티(馒头;蒸しパン) /편빵, 맨보(面包;パン) /빵, 메치(煤气;ガス) /가스, 뽀터처(摩托车;オートバイ) /오토바이, 미마(密码;暗証番号) /비밀번호, 밍썬짚\* [ㄹ] は通常 [l] (明信片;葉書) /엽서, 밍썬(明星;スター) /스타, 맨새(扁食;ギョーザ) /물만두, 부씨판(补习班;塾) /학원, 부커(扑克;トランプ) /트럼프, 비짜어(比赛;試合) /경기, 비짜번(笔记本;ノート) /공책, 비짜벌맨노\* [ㄹ] は通常 [l] (笔记本电脑;ノートパソコン) /노트북 컴퓨터, 뽀이휘\* [ㅎ] は [h] (百

货;デパート) /백화점, 빠타이 (吧台;バーなどのカウンター) /카운터,  
 빵디 (邦迪;絆創膏) /반창고, 보안 (保安員;警備員) /경비원, 뽀즈 (包  
 子;肉饅頭) /고기만두, 뽀관 (宾馆;ホテル) /호텔, 뽀꺄\* [ㄷ] は通常 [1]  
 (冰棍儿;アイスクャンディ) /아이스 캔디, 뽀꺄 (冰箱;冷蔵庫)  
 /냉장고, 뽀치린\* [ㄷ] は [1] (冰淇淋;アイスクリーム) /아이스크림,  
 수지 (收据;領収書) /영수증, 승친 (剩钱;釣り銭) /거스름돈, 삼밍쯔  
 (三明治;サンドイッチ) /샌드위치, 꺄발\* [ㄷ] は通常 [1] (上班;  
 出勤) /출근, 꺄발\* [ㄷ] は通常 [1] (下班;退勤) /퇴근, 꺄창 (香  
 腸;ハム) /햄, 썬우뽀우 (手表;腕時計) /손목시계, 썬우인타이 (收  
 银台;レジ) /계산대, 썬우지 (手机;携帯電話) /핸드폰, 썬료봉지\* [ㄷ  
 ㄷ] は [1 1] (塑料;ビニールの袋) /비닐 봉지, 썬코 (烧烤;焼肉) /  
 불고기, 썬나이 (酸奶;ヨーグルト) /요구르트, 썬제 (小姐;お嬢さん)  
 /아가씨, 썬꺄이\* [ㅎ] は [f] (小费;チップ) /팁, 썬뎀 (书店;書  
 店) /책방, 썬보우 (鼠标;コンピューターのマウス) /마우스, 썬이니 (水  
 泥;セメント) /시멘트, 썬이통 (水桶;バケツ) /물통, 썬고우 (雪糕;  
 アイスクリーム) /아이스크림, 썬리\* [ㄷ] は [1] (学历;学歴) /학력,  
 썬호\* [ㅎ] は [h] (学号;学籍番号) /학번, 썬훤\* [ㅎ] は [f] (学分;  
 単位) /학점, 썬지 (司机;運転手) /기사, 썬이지 (洗衣机;洗濯機) /  
 세탁기, 썬천치 (吸尘器;掃除機) /청소기, 썬화징\* [ㅎ] は [f] (洗  
 发精;シャンプー) /샴푸, 썬꺄 (信箱;ポスト) /우체통, 야진 (押金;  
 保証金) /보증금, 양러우찰\* 「리」의 [ㄷ] は [r] であるが、「찰」の  
 [ㄷ] は通常 [1] (羊肉扦儿;羊肉の串焼き) /양고기 꼬치구이, 양즈 (样  
 子;格好) /모양새, 앤쥬우썬웬 (研究生院;大学院) /대학원, 예쓰 (夜  
 市;夜の市) /밤거리의 노점, 왕바 (网吧;インターネットカフェ) / PC  
 방, 요꺄지 (遥控机;リモコン) /리모컨, 이틀\* [ㄷ] は通常 [1] (一  
 套;セット) /세트, 일료\* [ㄷㄷ] は [1 1] (饮料;飲料水) /음료수,  
 잉꺄\* [ㄷ] は通常 [1] (硬件;ハードウェア) /하드웨어, 지창 (机场;  
 空港) /공항, 지토 (竹筒?;爆竹) /폭죽, 꺄뎀 (诈骗;詐欺) /사기, 꺄  
 뎀\* [ㄷ] は通常 [1] (站点儿;停留所) /정류장, 꺄판 (键盘;キーボ  
 ード) /키보드, 꺄조 (家教;家庭教師) /가정 교사, 꺄부 (胶布;セロ  
 テープ) /스카치테이프, 꺄즈 (饺子;ギョーザ) /만두, 꺄뎀 (作弊;カ  
 ンニング) /커닝, 꺄주찬 (自助餐;バイキング料理) /부페, 차꺄 (插销;  
 プラグ) /플러그, 차꺄이 (茶水;茶) /차, 차이푸 (菜谱;メニュー) /식  
 단, 차꺄 (插座;コンセント) /콘센트, 찬꺄즈 (餐巾纸;ティッシュ) /  
 화장지, 창커 (常客:常連の客) /단골손님, 창포 (长跑;長距離走) /  
 장거리달리기, 찬밍 (签名;サイン) /싸인, 찬꺄 (签证;ビザ) /사증,  
 청꺄 (程序;コンピューターのプログラム) /프로그램, 초쓰 (超市;スー  
 パー) /슈퍼, 창랜\* [ㄷ] は [1] (窗帘;カーテン) /커튼, 초꺄리\*

[ㄹㄹ] は [l l] (巧克力; チョコレート) / 초콜릿, 추주 (出租; タクシー) / 택시, 치관즈 (气管子; ポンプ) / 펌프, 치썸이 (汽水; 사이더) / 사이다, 치즈 (起子; 栓抜き) / 병따개, 친차이 (芹菜; 세로리) / 셀러리, 카이팔\* [ㄹ] は通常 [l] (开关; 스위치) / 스위치, 커우홍\* [ㅎ] は [h] (口红; 口紅) / 입술연지, 코쓰 (考试; 試験) / 시험, 쿵투우 (空调; 에어컨) / 에어컨, 타이 (台; チャンネル) / 채널, 탄재 (毯子; 毛布) / 담요, 환장 (团长; 団長) / 단장, 통재 (桶子; 水桶) / 물통, 튀쨌 (拖鞋; スリッパ) / 실내화, 팡즈 (胖子; 太った人) / 똥똥보, 푸우타이\* [ㅍ] は [f] (服务台; フロント) / 프런트, 피쥬 (啤酒; ビール) / 맥주, 혈환\* [ㄹ] は通常 [l] で、「혈」の [ㅎ] は [h] であるが、「환」の [ㅎ] は [f] (盒饭; 弁当) / 도시락, 화성\* [ㅎ] は [h] (花生; 피ーナッツ) / 땅콩, 황뽕땀\* [ㅎ] は [f] (方便面; インスタントラーメン) / 라면, 후쓰\* [ㅎ] は [h] (护士; 看護師) / 간호사, 후조\* [ㅎ] は [h] (护照; パスポート) / 여권, 흥취땀\* [ㅎ] は [h] で、[ㄹ] は [l] (红绿灯; 信号) / 신호등, 휘쳐잔\* [ㅎ] は [h] (火车站; 駅) / 역

周知のように、現在延吉市の朝鮮族の学生は、ほとんどが中国語と延辺朝鮮語の二重言語生活者であるため、中国語の堪能な学生が多く、普段の会話にも中国語の単語を原音のまま混ぜて使う場合が増加しているという。上記の語は、その一部に過ぎない。ただ、これらの語は、「환후」などの場合、友人たちとの会話では普通に使われるが、祖父母などのいる家庭では「보은땀」を使う場合もあるとのことである。

中国語を原音のまま使う際、朝鮮語では区別されていない [ㅎ] の [h] と [f] を区別している。また [ㄹ] の [r] と [l] も区別して発音しているが、原音の語末子音の [r] は、通常 [l] で発音しているという。ただ、これらの語は話し言葉には良く使っても、書き言葉には余り使わないとのことである。

## II-1 d. 名詞; 日本語、あるいは日本語を経由した欧米語に由来すると 思われる語

가소린 (英: gasoline; ガソリン) / 휘발유, 개도마지 (毛糸の股引) / 털실로 만든 속마지, 고무 (蘭: gom; 消しゴム) / 지우개, 고힌 (蘭: kop; 컵) / 컵, 공골 (英: concrete; 콘크리트) / 콘크리트, 난닝구 (英: running; 란닝) / 러닝, 닌지 (ニンジン) / 당근, 다비 (足袋\*防寒用の厚手の短い靴下) / 짚고 두꺼운 양말, 덴찌 (電池\*乾電池で

はなく「懐中電灯」) /플래시, 덴찌약 (乾電池) /건전지, 도나쯔 (英: doughnut; ドーナツ) /도너츠, 도마도 (英: tomato; 토마토) /토마토, 도레바 (英: driver; 드라이버) /드라이버, 라지오 (英: radio; 라디오) /라디오, 마라손 (英: marathon; 마라톤) /마라톤, 메가네 (眼鏡) /안경, 바게쯔 (英: bucket; 바켓) /양동이, 반사꼬 (セロテープ) /스카치 테이프, 벤또 (弁当) /도시락, 벤찌 (英: pincher; 펜치) /펜치, 비루스 (独: Virus; 바이러스) /바이러스, 뽀쯔 (英: pants; 팬츠・パンティー) /팬티, 뽕끼 (蘭: pek; 펜키) /페인트, 사꾸라 (桜\*花札の「役」の名前でも使われる) /벚꽃, 산다 (英: sandal; 샌달) /슬리퍼・샌들, 샤쯔 (英: shirt; 셔츠) /셔츠, 세타 (英: sweater; 세터) /스웨터, 쉐멘트 (英: cement; 세멘트) /시멘트, 아빠트 (英: apartment; 아파트) /아파트, 아지나모도 (化学調味料\*「味の素」から) /화학조미료, 에네르기 (独: Energie; 에너지) /에너지, 에노구 (絵の具) /물감, 예리 (襟) /옷깃, 와기 (上着) /웃웃, 유모아 (英: humor; 유머) /유머, 이리꾸 (煮干の炒り子) /말린 잔 멸치, 자꾸 (チャック) /지퍼, 자부둥 (座布団) /방석, 잠빠 (英: jumper; 점퍼) /잠바, 카텐 (英: curtain; 커튼) /커튼, 한소대 (半袖) /반소매

日本語に由来すると思われる名詞は、1945年以前の日本が実質的に延辺を統治していた時代に、日本の文物とともに延辺朝鮮語に流入して来たものが大部分である。それらの中には「메가네 (眼鏡)」のように本来の日本語と、「고뿌 (コップ)」のように欧米語を起源とする外来語としての日本語の二種類が存在している。これらの中には、「아지나모도 (味の素)」のように音が変化したり、「닌지 (ニンジン)」や「와기 (上着)」のように音が脱落したり、あるいは「덴찌 (懐中電灯)」のように意味が変化しているものもある。また、日本語の中の外来語に由来すると思われる語の中には、「고뿌」、「라지오」、「뽕끼」、「샤쯔」、「아빠트」、「카텐」などのように、文化語に外来語として取り入れられているものもある。

これらの日本語に由来すると思われる語は、年配の朝鮮族には「와리마시 (割り箸)」や「세비로 (背広)」のように馴染みの深いものも多かったが、日本の影響力の低下とともに次第に用いられなくなって来ている。そのため、最近の朝鮮族の学生の間で普通に使われている名詞は、「우동 (うどん)」、「사라 (皿)」、「가방 (カバン)」、「구두 (靴)」のように韓国でも使われているのを除けば、上述した語ぐらいであって、それも外来語起源の語を除いては書き言葉には余り用いられず、話し言葉に良く使われていることである。

## II-1 e. 名詞 ; 欧米語に由来すると思われる語

거르마이 (露 : карман ; ポケット\*咸では「거르마니」) / 호주머니,  
트락또르 (露 : трактор ; 트랙터) / 트랙터, 마션 (露 :  
машина ; ミシン) / 재봉틀, 메터 (英 : meter ; เมตร) / 미터, 비  
시꺼 (露 : спичка ;マッチ\*咸では「비시꺼」) / 성냥, 턴넬 (英 :  
tunnel ; 톤넬) / 터널

欧米語に由来すると思われる名詞は、以前は、日本語の中の外来語として  
流入して来たものを除けば、当然のことながら隣接国のロシア語が多かった。  
特に、ロシア革命以前は、延辺との交流も盛んだったため、ロシア経由で流  
入して来た文物も多く、ロシア語が良く使われていたようである。それが、  
1937年に、沿海州の朝鮮人たちが中央アジアに強制移住させられてからは、  
ほとんど交流がなくなったという。それとともに以前は普通に使われていた  
「보미토리/помидор ; トマト」や「슬라포/шляпа ; 帽子」のよ  
うなロシア語に由来する語<sup>(8)</sup>も使われなくなり、現在用いられている名詞は、  
韓国語でも使われる場合がある「땅크/танк ; 戦車」を除けば、上述し  
た語ぐらいである。

一方、英語に由来する語は、アメリカの影響力の増大とともに増え始め、  
現在ではさまざまな分野に関する語が使われるようになってきている。ただ、そ  
の場合、韓国のマスコミを通じて入ってくる語が多いせいか、延辺だけで使  
われて韓国では使われないという語は、「메터/meter ; เมตร」などのよ  
うに日本語や文化語の影響を受けて韓国語の場合とは綴りが違っているよ  
うな場合を除いては、ほとんど見当たらない。また、これらの欧米語に由来  
すると思われる語の中には、「땅크」、「트락또르」、「메터」、「턴넬」  
などのように、文化語に外来語として取り入れられているものもある。

## II-2 a. 動詞 ; 朝鮮語やその方言に由来すると思われる語

가슬하다 (咸 ; 收穫する) / 가을하다, 갈그내다 (咸 ; 碾く) / 뿡다, 개가  
다 (? ; 持っていく) / 가져가다, 개어다 (咸・文 ; 畳む) / 개키다, 걸키  
다 (咸 ; 引っ掛かる) / 걸리다, 구불다 (咸 ; 転ぶ) / 뉘굴다, 기떡차다 (? ;  
啞然とする) / 기차다, 길구다 (咸 ; 育てる) / 기르다, 까시다 (? ; 皿洗  
いをする) / 설거지하다, 개끼다 (文 ; むせる) / 사례들리다, 꼬지바떼다  
(? ; つねる) / 꼬집다, 꿈치우다 (? ; 隠す) / 감추다, 날구다 (咸 ; 火  
葬した灰を撒く) / 화장된 재를 날리다, 내리우다 (文 ; 下ろす) / 내리다,  
내뿌리다 (四・文 ; 投げる) / 던지다, 너덜대다 (? ; 出来るふりをする) /

잘난척하다, 노랑지다 (? ; 怠ける) / 게으름을 피우다, 놀루다 (? ; 押す) / 누르다, 놀리우다 (文 ; 押さえ付けられる) / 놀리다, 놀구다 (咸·文 ; 伸ばす) / 늘리다, 닳다 (六·文 ; 炒める \* 韓では「磨く」) / 볶다, 달리다 (? ; 飛び掛かる) / 덩비다, 닳다 (? ; 走る) / 달리다, 답새기다 (文 ; する \* 行動を強調する) / 하다·치다, 대배신다 (咸 ; 裏返しに履く) / 뒤집어 신다, 대배지다 (六 ; 倒れる) / 넘어지다, 대비다 (咸 ; 逆さにする) / 뒤집다, 데끼다 (? ; 温める) / 데우다, 덴지다 (咸南 ; 捨てる \* 咸では「던지다」) / 버리다, 돌구다 (咸 ; 回す) / 돌리다, 동지다 (咸 ; 括る) / 동이다, 듣기다 (六 ; 聞こえる) / 들리다, 때기다 (? ; 開ける) / 뜯다, 떼우다 (? ; 金を盜られる) / 떼이다, 뜯기우다 (? ; 追い出される) / 내쫓기다, 뜯구다 (? ; 穴を開ける) / 뚫다, 마사지다 (咸·文 ; 壊れる) / 망가지다, 마스다 (咸·文 ; 壊す) / 망가뜨리다, 마이다 (? ; 飲む \* 咸では「매이다」) / 마시다, 말기다 (咸 ; やめさせる) / 말리다, 말리우다 (文 ; 乾かす) / 말리다, 매태하다 (? ; 誹謗する) / 비방하다, 모두다 (四·文 ; 集める) / 모으다, 미꺼던지다 (? ; 消してしまう) / 지워 버리다, 미끄다 (? ; 消す) / 지우다, 밀구다 (咸 ; 延期する) / 미루다, 밀기다 (? ; 溜まっている) / 밀리다, 밭그다 (文 ; 皮を剥く) / 벗기다, 배와 (위) 주다 (文 ; 教える) / 가르치다, 번저지다 (? ; 転ぶ) / 넘어지다, 벨 (별) 란내하다 (? ; 変な行動をする) / 이상한 행동을 하다, 보채다 (? ; のさばる) / 설치다, 밟다 (咸 ; 踏む) / 밟다, 부리우다 (文 ; 下ろす) / 부리다, 부시우다 (? ; 壊す) / 부수다, 불구다 (咸 ; ふやかす) / 불리다, 뺏다 (? ; 脱ぐ) / 벗다, 빼치다 (咸·文 ; 干渉する) / 상관하다, 살구다 (咸 ; 生かす) / 살리다, 상세나다 (咸 ; 亡くなる) / 돌아가다, 새나다 (咸·文 ; うんざりする) / 약비나다, 서적쓰다 (咸 ; 駄々をこねる) / 응석부리다, 속히우다 (? ; 騙される) / 속다, 숨키다 (黄海·慶南 ; 隠す·隠れる \* 黄海·慶南では「隠す」の意味だけで使う) / 숨기다·숨다, 씻다 (咸·文 ; 洗う) / 씻다, 싸다 (咸 ; 買う) / 사다, 쌀개다 (? ; 不良行為を働く) / 불량한 짓을 하다, 씨거지다 (咸 ; くだばる) / 뉘지다, 알기다 (? ; 知らせる \* 四では「알귀다」) / 알리다, 애나다 (文 ; イライラする) / 속이 타다, 어더보다 (咸·文 ; 捜して見る) / 찾아보다, 얼구다 (咸·文 ; 凍らせる) / 얼리다, 얼리다 (咸 ; 騙す·宥める) / 속이다·달래다, 얼리우다 (咸 ; 騙される) / 속다, 업신보다 (文 ; 侮る) / 업신여기다, 엮디다 (文 ; 伏せる) / 엮드리다, 역세질하다 (? ; あくせくする) / 허덕거리다, 영다 (四 ; 入れる) / 넣다, 예비다 (四 ; 瘦せ衰える) / 여위다, 욱하다 (文 ; 叱る) / 야단치다, 웨치다 (文 ; 叫ぶ) / 외치다, 일구다 (咸 ; 起こす) / 일으키다, 잊어버리다 (? ; なくす·忘れる) / 잃어버리다·잊어버리다, 자래우다 (文 ; 育てる) / 기르다, 자블다 (? ; うとうとする \* 咸では「자블다」) / 졸다, 절구다 (咸 ; 漬ける) / 절이다, 제뿌리다 (? ; 捨てる) / 버리다, 지지벌

거리다 (咸 ; पेच्यापेच्याश्याべる) / 지절거리다, 썰기다 (? ; 割る) /  
썰개다, 졸구다 (六 ; 縮める) / 줄이다, 쫓기우다 (文 ; 追いかけられる)  
/ 쫓기다, 코구르다 (咸・平 ; 麩をかく) / 코골다, 탈다 (文 ; 捻る) /  
틀다, 터지우다 (? ; 爆發させる) / 터뜨리다, 털리우다 (文 ; 盜られる)  
/ 털리다, 튀다 (? ; 別れる \* 通常恋人同士の場合について言う) / 헤어지  
다, 파이나다 (? ; 破れる) / 찢어지다, 폴삭하다 (? ; しょげる) / 풀이  
죽다, 풀치다 (? ; 挫く) / 뺨다, 헤다 (四 ; 数える) / 세다

以上、朝鮮語に由来すると思われる延辺朝鮮語の動詞は、総計で 100 語であるが、もちろん、これで全てと言うわけではない。ここに収集されなかった語もあるが、それでも概略以下のような点が指摘できるものと思われる。

まず、朝鮮語との関係であるが、名詞の場合と同様に四邑方言と六鎮方言を含めた咸鏡北道方言に由来すると思われるものが 43 語とかなり多く、全体の四割強を占めている。その中で、主に四邑方言に由来すると思われる語は 5 語、主に六鎮方言に由来すると思われる語は 4 語である。

次に多いのが、やはり文化語に由来すると思われる語で、29 語と三割弱を占めている。ただし、それら以外の朝鮮語との関係は薄く、平安北道方言に由来すると思われる語が 1 語、咸鏡南道方言に由来すると思われる語が 1 語、黄海道方言あるいは慶尚南道方言に由来すると思われる語が 1 語あるだけである。一方、由来の明白でない語は 38 語となっている。

次に、それらの語の特徴であるが、目を引くのは、名詞の場合と同様に、「뽕다/뽕다」や「탈다/틀다」のように母音が変化したものと、「날구다/날리다」のように咸鏡北道方言の特徴である他動化形成接辞の「-구-」を

有する語が多いということであろう。また、「뒹다/뽕다」などのように本来の意味が変化した例も見られる。それと、「숨키다/숨기다」は、一応黄海道方言あるいは慶尚南道方言に由来する語と表示したが、延辺で「-기-」

が有気音化した語である可能性も十分あるものと思われる<sup>(9)</sup>。また、朝鮮時代に、慶尚道から咸鏡北道への移民が行われたことを考慮するなら、その影響が残った可能性も否定できないだろう。

さて、これらの延辺朝鮮語の動詞は、名詞の場合と同様に、韓国語や文化語に比較して劣位の語として意識されているせいか、文化語に由来すると思われる語は別にして、主に話し言葉に使われ、通常書き言葉には用いられないものが多いようである。

## II - 2 b. 動詞 ; 中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものに由来すると思われる語



관심 (关心;面倒を見てやる) 해 주다/돌봐 주다, 교학 (教学;授業する) 하다/수업을 하다, 방조 (帮助;手伝う) 하다/도와 주다, 복무 (服务;奉仕する) 하다/봉사하다, 상과하다 (上课;授業を受ける)/수업을 듣다, 안장 (安装;取り付ける) 하다/설치하다, 정치하다 (政治;説教する)/설교하다, 주숙 (住宿;宿泊する) 하다/묵다, 표달 (表达;表現する) 하다/표현하다

これらの中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものに由来すると思われる動詞は、それほど多くはないが、話し言葉にも書き言葉にも良く用いられている。

## II - 2 c. 動詞; 中国語を原音読みにしたものに由来すると思われる語

따배우 (打包;梱包する) 하다/포장하다, 멘차이 (点菜;注文する) 하다/주문하다, 뚱 (冻;凍らせる) 하다/얼리다, 뽀밍 (报名;申し込む) 하다/신청하다, 싹 (删;削除する) 하다/삭제하다, 쌍발\* [ㄷ] は通常 [1] (上班;出勤する) 하다/출근하다, 쌍왕 (上网;インターネットをする) 하다/인터넷을 하다, 쌍커 (上课;授業を受ける) 하다/수업을 듣다, 쌍발\* [ㄷ] は通常 [1] (下班;退勤する) 하다/퇴근하다, 쌍커 (下课;授業が終わる) 하다/수업이 끝나다, 쑤우로우\* [ㄷ] は [r] (骚扰;邪魔する) 하다/방해하다, 짜조 (家教;家庭教師をする) 하다/가정교사를 하다, 쟁커 (讲课;授業する) 하다/강의하다, 환 (传;伝える) 하다/전하다, 창 (撞;衝突する) 하다/충돌하다, 춘 (存;保存する) 하다/보존하다, 치푸\* [ㅍ] は [f] (欺负;虐められる) 받다/학대받다, 칭커 (请客;ご馳走する) 하다/한턱 내다, 쾡커 (旷课;サボる) 하다/땡땡이 치다, 포캐 (破开;お金をくずす) 하다/돈을 바꾸다, 허쓰\* [ㅎ] は [h] (合适;得をする) 보다/이득을 보다, 허우튀이\* [ㅎ] は [h] (后退;後退する) 하다/후퇴하다

これらの中国語を原音読みにしたものに由来すると思われる動詞は、最近増加しているが、通常話し言葉に良く使われ、書き言葉には余り用いられないという。

## II - 3 a. 形容詞; 朝鮮語やその方言に由来すると思われる語

가깝다 (咸;かゆい) /가렵다, 가쁜하다 (文;まっすぐだ) /곧다, 가깝다 (咸・文・平;近い) /가깝다, 가파롭다 (文;勾配が急である) /가파르

다, 괴벽하다 (文; 氣難しい) / 괴팍하다, 군수가다 (? ; 騒がしい) / 소란스럽다, 너르다 (咸·文; 広い) / 넓다, 누쿠데하다 (? ; ぐったりしている) / 느른하다, 눅다 (咸·文; 安い) / 싸다, 느지다 (咸; のろい) / 느리다, 데면 (덴) 데면 (덴) 하다 (? ; そそっかしい) / 덩벙거리다, 독하다 (? ; 太い) / 굵다, 던하다 (? ; 頭が鈍い) / 둔하다, 따다 (六·文·平; 違ふ) / 다르다, 따따사다 (咸; 暖かい\*光について言う) / 따뜻하다, 따뜨사다 (? ; 温かい\*空気が水について言う) / 따뜻하다, 똥다 (? ; 違ふ) / 다르다, 땅따나다 (? ; 固い) / 굳다, 떼하다 (? ; 不十分だ) / 부실하다, 땡하다 (文; 頭がぼうっとする) / 멍하다, 뜨뜨사다 (? ; 暖かい\*オンドルについて言う) / 따뜻하다, 마춤하다 (? ; 程よい) / 적당하다, 매짜다 (? ; 格好いい\*男について言う) / 멋지다, 머절사하다 (? ; ばかばかしい) / 시시하다, 메케사다 (四·文; 愚かだ) / 어리석다, 모즈라다 (咸; 足りない) / 모자라다, 바뿌다 (咸; 難しい) / 어렵다, 분주하다 (咸·文; 騒がしい\*文では「忙しい」の意味もある) / 소란스럽다, 뻘대대하다 (? ; 小さい) / 작다, 뿌디사다 (? ; 窮屈だ) / 불편하다, 사무럽다 (咸; 荒々しい\*女について言う) / 사납다, 삽하다 (四; はらはらす) / 아슬아슬하다, 새치사다 (? ; 華やかだ) / 화려하다, 새타얏다 (咸·文; 真っ白い) / 하얗다, 솔다 (咸·文; きつい) / 타이트하다, 슴슴하다 (文·平; 塩味が薄い) / 간이 싱겁다, 승겁다 (咸; 味が薄い) / 싱겁다, 시시껍질하다 (? ; くだらない) / 보잘것없다, 시쿨다 (咸; 酸っぱい) / 시다, 신시편편하다 (? ; 良い暮らしをしている) / 살기 좋다, 실하다 (? ; 太っている\*文では「体ががっしりしている」) / 똥똥하다, 썰썰하다 (文; ひもじい) / 출출하다, 쓰겁다 (咸·文; にがい) / 쓰다, 쓰겁드레하다 (? ; 氣乗りしない) / 뜨악하다, 씨원하다 (咸·文; 涼しい) / 시원하다, 아쓸하다 (? ; 乗り気がしない) / 마음이 내키지 않다, 아짜아짜하다 (文; はらはらす) / 아슬아슬하다, 약하다 (? ; すらりとしている) / 날씬하다, 애쎬가다 (咸; 脂っこい) / 느끼하다, 어떠사다 (? ; 恥ずかしい) / 창피하다, 어물쩍하다 (? ; 大人っぽい) / 어른스럽다, 얼뻔하다 (咸·文; 頭がぼうっとしている) / 머리가 멍하고 멍하다, 얼썰하다 (? ; 愚かだ) / 어리석다, 역다 (文; ずる賢い) / 교활하다, 영사하다 (? ; きまり悪い) / 부끄럽고 불편하다, 오라다 (咸·文; 久しい) / 오래다, 울똥하다 (文; 澄んでいる) / 맑다, 와자자하다 (? ; ごちゃごちゃしている) / 복잡하다, 왕처같다 (? ; とんでもない\*文では「왕청같다」) / 엉뚱하다, 우웁다 (四; 可笑しい) / 우습다, 으쓸하다 (文; 物に対して怖い·人に対して嫌い\*文では恐怖や寒さなどで体がすくむ) / 무섭다·싫다, 이러루하다 (文; このようだ) / 이러하다, 일없다 (咸·文·慶尚; かまわない) / 괜찮다, 자부럽다 (? ; 眠い\*咸では「자부럽다」) / 졸리다, 주새없다 (咸; 輕薄だ) / 주책없다, 즐다 (咸; ぬかるんでいる) /

질다, 짜갑다 (咸; 塩からい) / 짜다, 짜르다 (咸・文; 短い) / 짧다, 좁다 (咸; 狭い) / 좁다, 쟁피사다 (?; 恥ずかしい) / 부끄럽다, 첸심하다 (?; そっくりだ) / 똑같다, 춥다 (咸; 寒い) / 춥다, 쿠리다 (文; 足などの嫌な臭いがする) / 고리다, 크다맏다 (文; 非常に大きい) / 커다랗다, 탐탐하다 (?; 息が詰まる) / 답답하다, 태매사다 (?; 愚鈍だ) / 매련하다, 터덕터덕하다 (?; 荒い) / 거칠다, 편편하다 (文; 丈夫だ\*韓では「平たい」) / 멀쩡하다, 푸시시하다 (文; ぱさぱさしている) / 부수수하다, 해갑다 (咸; 軽い) / 가볍다, 해사하다 (咸; ぶりっ子する\*文では顔色が白くてきれいだ) / 새침떨다, 행배없다 (?; 気が利かない) / 눈치없다, 허줄하다 (文・平; みすばらしい) / 허름하다, 흘 (혈하) 다 (?; 簡単だ\*咸・文では「혈하다」) / 쉽다, 헤써하다 (咸; うきうきしている) / 기분 좋다, 행쾌없다 (?; つまらない) / 형편없다, 희구하다 (?; 非常に珍しい) / 희귀하다

以上、朝鮮語に由来すると思われる延辺朝鮮語の形容詞は、総計で 87 語であるが、もちろん、これで全てと言うわけではない。また、ここに収集されなかった語もあるが、それでも概略以下のような点が指摘できるものと思われる。

まず、朝鮮語との関係であるが、名詞や動詞の場合と同様に四邑方言と六鎮方言を含めた咸鏡北道方言に由来すると思われるものが 34 語と断然多く、全体の四割弱を占めている。その中で、主に四邑方言に由来すると思われる語は 3 語、六鎮方言に由来すると思われる語は 1 語となっている。

次に多いのが、やはり文化語に由来すると思われる語で、31 語と三分の一強を占めていて、名詞や動詞の場合よりは割合が高くなっている。一方、それら以外の朝鮮語との関係は薄く、平安北道方言に由来すると思われる語が 4 語、慶尚道方言に由来すると思われる語が 1 語あるだけである。また、由来の明白でない語は 37 語となっている。

次に、それらの語の特徴であるが、目を引くのは、名詞や動詞の場合と同様に「쿠리다/고리다」や「춥다/춥다」のように音が変化したものが多いということであろう。また、「짜갑다/짜다」のように形容詞の語幹に「-갑(갑)」を添加した語も目に付く。中には、「해사하다/새침떨다」などのように本来の意味が変化した語も見られる。

さて、これらの延辺朝鮮語の形容詞は、名詞や動詞の場合と同様に韓国語や文化語に比較して劣位の語として意識されているせいか、主に話し言葉に使われ、文化語に由来すると思われる語は別にして、通常書き言葉には用いられないものが多いようである。

## II - 3 b. 形容詞 ; ; 中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものや原音読み

## にしたものに由来すると思われる語

로실\*「로」と「실」の[ㄷ]は[1]（老实；誠実だ）하다/성실하다, 문명（文明；礼儀正しい）하다/예의바르다, 묘톨\* [ㄷ]は[1]（苗条；スタイルが良い）하다/날씬하다, 팡（胖；太っている）하다/뚱뚱하다, 푸하다（破；みすぼらしい\*人について言う）/누추하다,

中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものに由来すると思われる形容詞は、筆者の収集した限りでは「로실하다」と「문명하다」の2語に過ぎないが、話し言葉にも書き言葉にも使われるという。また、中国語を原音読みにしたものに由来すると思われる形容詞も、筆者の収集した限りでは「묘톨하다」、「팡하다」、「푸하다」の3語だけであるが、これらは専ら話し言葉に用いられるとのことである。

### II-4 a. 副詞；朝鮮語やその方言に由来すると思われる語

가마이（咸；静かに）/가만히, 가즈（?；直ちに）/금방, 갠다메（?；その後）/그런다음에, 갠（근）게・그랜（런）게（?；とここで・だから・すると）/그러니까・그런데・그랬더니, 갠데（?；とここで）/그런데, 갠（금）・그랜（?；それなら）/그러면, 거（그）기메（?；そこに・あそこに）/거기에, 거지반（四・文；ほとんど）/거의, 게구（咸；ようやく）/겨우, 고델루（?；そのまま）/고스란히, 곰만（咸；すぐ）/금방, 그까나・그래까（나）（?；だから）/그러니까, 그래채무（?；そうでなければ）/그렇지 않으면, 그래채쿠（?；そうではなく）/그렇지 않고, 그채나두（?；そうでなくても）/그렇지 않아도, 꼬꼬지（咸；まっすぐ）/곧장, 꼴뚝（咸；たっぶり）/듬뿍, 나래（?；後で）/나중에, 내질루（?；自分の力で\*文では「내질로」）/자기 스스로, 대다이（?；非常に）/대단히, 대수（文；だいたい）/대충, 데비（?；かえって\*咸では「되비」）/도리어, 뒤떠르（?；後ろに\*四で「뒤떠」は「後頭部」）/뒤로, 딱맞게（?；ふさわしく）/알맞게, 딸르딸르（?；別々に）/따로따로, 떼각（?；素早く）/냉큼, 마이（咸；たくさん）/많이, 마즈（?；最後まで）/마저, 망탕（文；むやみに）/마구, 매나네（?；なんとなく）/이유없이, 멘바로（?；ちょうど）/마침, 미내（?；全然）/전혀, 벨루（咸；別に）/별로, 블쨌루（咸；突然）/갑자기, 빠이（?；はっきり\*咸では「빠이」）/뻔히, 빨（?；早く）/빨리, 슬써（?；こっそりと）/슬그머니, 실큰（咸；思う存分）/실컷, 썬거지개（?；死ぬほど）/죽도록, 썬개（기）（?；すごく）/되게, 아글타글（文；必死に）/필사적으로, 아께（咸；さっき）/아까, 아이（四；…ない\*用言の前に置か

れて否定を表す) /아니, 어디메 (咸; どこに) /어디에, 어저느 (咸; もう) /이제는, 언녕 (咸; 前もって) /진작, 여저이 (?; 相変わらず) /여전히, 여파래 (?; そばに) /옆에, 오내르 (온넬) (?; ずっと・一日中) /계속・온종일, 오습소리 (?; ひっそり) /조용히, 온하루 (?; 一日中) /온종일, 와늘 (咸; 全く) /완전히, 완 (?; 全く) /완전히, 우정 (四・文; わざと) /일부러, 이기메 (?; ここに) /여기에, 이담에 (?; あとで\*咸では「이담에」) /나중에, 이재 (咸; 今しがた) /방금, 인간 (가이) (?; とても) /대단히, 인차 (咸・文; すぐ) /곧, 자기절루 (文; 自然に・自分で) /저절로・스스로, 저기메 (?; あそこに) /저기에, 저래 (文; 一気に) /한꺼번에, 절루 (四・文; 自分で\*韓では「自然に」) /스스로, 제구나 (?; ようやく\*咸南では「제구래」) /겨우, 제내 (?; わざと\*六では「제네니」) /일부러, 제빨대루 (?; 自分勝手に) /제멋대로, 제절루 (咸; 自ら) /스스로, 조만에 (?; さほど) /그다지, 지내 (文; あまりにも) /너무, 지썸 (?; かなり・まあまあ) /꽤・괜찮게, 짝하무 (?; ともすると\*文では「 짝하면」) /특하면, 찬차이 (?; はっきり) /똑똑히, 척감 (六; 初めて) /처음, 한때갈에 (?; 一時は) /한때는, 한마 (바) 트무 (四; まかり間違えば) /하마터면, 한제 (咸; 外で) /밖에, 허망대구 (?; むやみに) /허청대고, 호물호물 (?; ふかふか\*韓や文では「もぐもぐ食べる」) /말랑말랑

以上、朝鮮やその方言に由来すると思われる延辺朝鮮語の副詞は、総計で 81 語であるが、もちろんこれで全てと言うわけではない。ここに収集されなかった語もあるが、それでも概略以下のような点が指摘できるものと思われる。

まず、朝鮮語との関係であるが、形容詞の場合と同様に四邑方言と六鎮方言を含めた咸鏡北道方言に由来すると思われるものが 24 語と、全体の三割弱を占めている。その中で、主に四邑方言に由来すると思われる語は 5 語、主に六鎮方言に由来すると思われる語は 1 語である。

次に多いのが、やはり文化語に由来すると思われる語で、10 語と一割強を占めている。一方、由来の明白でない語は 51 語となっている。

次に、それらの語の特徴であるが、目を引くのは、他の品詞の場合と同様に「뻐루/뻐로」のように母音が変化したものと、「마이/땡어」のように「ㄴ」が脱落した語が見られるということであろう。また、「 짝하무/특하면」は、文化語「 짝하면」が延辺で変化をこうむり、「ㄴ」が脱落して新たに生じた語である可能性が高いものと思われる。

さて、これらの延辺朝鮮語の副詞は、他の品詞の場合と同様に韓国語と比較して劣位の語として意識されているせいか、主に話し言葉に使われ、文化語に由来すると思われる語も含めて、通常書き言葉には用いられないものが

多いという。

#### II-4 b. 副詞；中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたものや原音読みにしたものに由来すると思われる語

가능 (可能；おそらく) 하게/아마도, 경상 (經常；いつも) 적으로/일상적으로, 기본상(基本上；ほとんど)/대개, 전문 (専門；いつも) /늘, 치마 (起碼；少なくとも) /적어도, 평 (평) 시 (平時；普段) 에/평소에

これらの中国語を朝鮮語の漢字音読みにしたもの由来すると思われる副詞は、そう多くはないが、話し言葉にも書き言葉にも良く用いられているという。また、中国語を原音読みにしたもの由来すると思われる副詞は意外に少なく、筆者の収集した限りでは、「치마」の1語だけである。また、この語は通常話し言葉だけに用いられるという。

#### II-5 a. 慣用句・指定詞・感嘆詞・挿入句；朝鮮語やその方言に由来すると思われる語句

꼬디 쓰다 (? ;拗ねる) /토라지다, 드살이 세다 (文；女が男のように気が荒い) /여자가 남자처럼 성미가 거칠다, 배리 뽀어나다 (咸；腹が立つ) /화가 나다, 멘목으 알다 (文；顔なじみだ) /안면이 있다, 불으 죽이다 (六；火を消す・灯りを消す) /불을 끄다, 수준이 발바닥이다 (? ;民度が大変低い) /민도가 아주 낮다, 신게이 나다 (? ;いらいらする) /짜증이 나다, 쎄르 쓰다 (咸；気が狂う) /미치다, 아가! (咸；痛い!) /아파!, 아이 (四；いいえ) /아니, 애 나다 (文；気が焦る\*韓では「癩に障る」) /애 타다, 어레바 말구 (? ;遠慮せずに) /염려하지 말고, 앓다 (咸；ほら！あげる) /앓다, 예 (? ;はい\*延辺では通常「네」は使われない) /예, 오라지 앓으므 (? ;間もなく\*文では「오래지 앓으면」) /얼마 안 있으면, 오래오래 앓으세요 (? ;長生きしてください) /오래오래 사세요, 옴다 (咸；そうだ) /맞아, 우게 쓰다 (? ;言い張る) /우기다, 이랜나레 (? ;こうしたら) /이렇게 하면, 장난으 쓰다 (文；いたずらをする) /장난을 치다, 전기에 불다 (? ;感電する) /감전되다

これらの語句は、咸鏡北道方言に由来するものが多いのは当然だが、学校教育の影響のせいか、文化語に由来する語句も良く使われている。また、主に話し言葉に使われるという。

#### II-5 b. 慣用句・挨拶；中国語に由来すると思われる語句

ㅁ이부치 (对不起; すみません) /미안하다, 메이썰\* [ㄷ] は「r」(没事儿; 大丈夫) /괜찮다, 사람이 있음까 (这儿有人吗; この席、空いてますか) ? /자리 있어요?, 와이 (喂; もしもし\*電話で使うが、直接人を呼ぶ場合には「위어」を使う) /여보세요, 전화 치다 (打电话; 電話をかける) /전화를 걸다, 짜이젠 (再见; またあとで) /안녕, 짜유 (加油; がんばれ) /화이팅, 하우라\* [ㅎ] は[h]で、[ㄷ]は[l] (好了; どうも失礼しました\*電話で) /끊어요

これらの慣用句は、「사람이 있음까? /자리 있어요?」のように、中国語の表現を翻訳借用したものが多い。これらは、話し言葉と書き言葉の両方に用いられるものが多いという。また、日常の挨拶や電話の挨拶などでは、朝鮮族同士でも、「짜이젠/안녕」や「와이 (위어) /여보세요」のように、中国語の原音のまま使われている表現もある。

### Ⅲ. 文法的特徴

次は、韓国語では通常用いられないが、延吉市の朝鮮族の学生たちには普通に使われている延辺朝鮮語の主な文法的形式について考察して見ることにしよう。これらは、通常話し言葉で使われ、咸鏡北道方言と共通するものが多いが、中には延辺で独自に発達したのではないかと思われるものもある。また、中には咸鏡北道方言が成立した歴史的経緯から慶尚道方言と類似しているものも散見される。

一応、それらの形式(下線部分)を列挙すると、以下のようなになる(\*延辺朝鮮語/韓国語の順に表示)。また、接続形語尾と終止形語尾に関しては、「하다 (する)」で以って、それらの文法的形式を表示している。

ただし、それらの接続する用言が「먹다 (食べる)」のように語末子音を有している場合や、「놀다 (遊ぶ)」のように語末子音が「ㄷ」の場合のように、それらの形態が変化してくる場合は、それらの用言に接続して変化した形態も角括弧の中に併せて表示している。また、例文は複数のインフォマントに作成を依頼して、最も自然に使われると思うものを採用している。

#### Ⅲ-1. 助詞

【1】 입이 (이가) (口が) / 입이; 눈이 (이가) (目が) / 눈이; 귀 이 (耳が) / 귀가; 코 이 · 코 이 (이가) (鼻が) / 코가

\*延辺では、主格を強調する場合、「입이가」のように咸鏡北道方言や一部

の慶尚道方言<sup>(41)</sup>と同様に「-이가」を使うことがあるが、学生たちはあまり使わない。また、「입」のように語末子音のある場合、延辺朝鮮語では開音節化を好むせいか、単独で用いられることはなく、通常「-이」とともに用いられる。

ただし、「눈」や「등」のように語末子音が「ㄴ」や「ㅇ」で終わっている場合、「-이」を使うと、「ㄴ」や「ㅇ」が脱落して「누이」や「드이」のようになる。この際、「-이」は、通常鼻音化する。しかし、「누가」のように「-가」を用いることはない。

語末子音のない場合、「귀 0」のように通常「-가」は使わない。また、「코」や「우 (上)」のように、中世語で語末子音に「ㅎ」を保持していた語の場合も「가」は使わず、「코이」や「우이」のように「-이」を使うか、あるいは「코 0」や「우 0」のように単独で用いる。

ただ、中世語で語末子音に「ㅎ」を保持していた他の「그루 (根元)」、「나라 (国)」、「내 (川)」、「이마 (額)」、「조 (粟)」、「하나 (一つ)」などのような語の場合、「-이」は使わず、「귀 0」のように単独で用いる。

## 【2】 입으느 (으느) (口は) / 입은 ; 귀느 (느) (耳は) / 귀는

\*語末子音のある場合、「입으느」のように「-으느」を使うが、この際、「느」の「으」が鼻音化されることがある。また、主題を強調しようとする場合、「입으느」のように、「-으느」を用いることもある。語によっては「아들이느」、「사람이느」のように「-이느」を用いることもある。

語末子音のない場合、「귀느 (느)」のように「-느 (느)」を用いるが、語によっては「나누 (눈)」、「니누 (눈)」のように「-누 (눈)」も用いることがある。いずれの場合も、「느」の「으」や「누」の「우」が鼻音化されることがある。

## 【3】 입으 (口を) / 입을 ; 귀 0・귀르 (耳を) / 귀를

\*対格は、語末子音がある場合、咸鏡北道方言と同様、「입으」のように「-으」を用い、主格を表す「-이」の場合と同様な理由で、通常省略されることはない。

語末子音がない場合は、通常「귀 0」のように表示して、「-르」は余り使わない。ただし、語によっては「남이르」、「행님이르」のように「-이르」を用いることもある。

## 【4】 비두 (뚜・드・뜨) (雨も) / 비도

\*韓国語の「-도」は、語末子音の有無に関係なく「-두・뚜・드・뜨」で表され、通常「-도」は使われない。

## 【5】 형님인데 (お兄さんに) / 형님에게 ; 엄만데 (お母さんに) / 엄마에게

\*韓国語の「-에게」は、語末子音のある場合、慶尚道方言と同様に「-인



데」で、語末子音のない場合、「-는데」で表され、通常「-에게」や「-한테」は用いられない。

【6】 손을루 (手で) / 손으로; 귓루 (耳で) / 귀로; 발루 (足で) / 발로  
\*韓国語の「-으로・로」は、「ㄷ」以外の語末子音のある場合、「-을루」、語末子音のない場合、「-르루」、語末子音が「ㄷ」の場合、「-루」で表す。場合によっては、「-을르」や「-르」を用いることもあるが、通常「-으로・로」は用いられない。

【7】 말까 소 (馬と牛) / 말과 소; 소까 말 (牛と馬) / 소와 말  
\*韓国語の「-과・와」は、語末子音の有無に関係なく、咸鏡北道方言に由来すると思われる「-까」で表し、通常「-과・와」は用いられない。ただ、「-하구」は使われる場合がある。

【8】 형님이 가방 (兄のカバン) / 형님의 가방  
\*韓国語の[所有]を表す「-의」は、「엄마 가방」のように通常は使われないが、「형님」や「남」のように語末子音のある場合、「-이」を用いることもある。

【9】 사과만 (林檎より) / 사과보다  
\*韓国語の[比較]を表す「-보다」は、語末子音の有無に関係なく「사과마」のように「-마」で表されるが、「-보다」もよく使われる。

【10】 니마이 (あなたくらい) / 너만큼  
\*韓国語の[程度]を表す「-만큼」は、語末子音の有無に関係なく「니마이」のように「-마이」で表されるが、「-만큼」も使われる。

【11】 신발두 (靴さえ) / 신발조차  
\*韓国語の「-조차」は使われず、語末子音の有無に関係なく「신발두」のように「-두」で表される<sup>(12)</sup>。

【12】 시계까지 (時計まで) / 시계마저  
\*韓国語の「-마저」は、語末子音の有無に関係なく「시계까지」のように「-까지」で表される。「-마저」も使われるが、「-까지」よりも意味が強くなる。

【13】 집이래두 (家でも) / 집이나마; 차래두 (車でも) / 차나마  
\*韓国語の「-나마」は、語末子音のある場合、「-이래두」で、語末子音のない場合、「-래두」で表すが、「-나마」も使われることがある。

【14】 남이사 (他人こそ) / 남이야; 니사 (あなたこそ) / 너야  
\*韓国語の[強調]を表す「-이야・야」は、それらの古形や慶尚道方言<sup>(13)</sup>と同様に、語末子音のある場合、「-이사」、語末子音のない場合、「-사」で表すが、「-이야・야」が使われることもある。

【15】 형님일 (을) 래서 (兄のために) / 형님을 위해서・때문에; 엄말래서

(母のために) / 엄마를 위해서・때문에 ; 딸래서 (娘のために) / 딸을 위해서・때문에

\*咸鏡北道方言に由来すると思われる延辺朝鮮語の「-일 (을) 래서・르래서・래서」は、おおよそ韓国語の「-을 (를) 위해서」や「때문에」に類似した意味を表す。語末子音のある場合、「-일 (을) 래서」で、語末子音のない場合、「-르래서」で表す。語末子音が「ㄹ」の場合、「-래서」を用いる。延辺朝鮮語では、「-을 (를) 위해서」は用いられないが、「때문에」は使う場合がある。

【16】 말이라메 (馬と・など) / 말이랑 ; 소라메 (牛と・など) / 소랑

\*延辺朝鮮語の「-이라메・라메」は、おおよそ韓国語の「-이랑・랑」に類似した[共同]や、状況によっては[例示]の意味を表すが、時には[強調]の意味を表す場合もある。語末子音のある場合、「-이라메」で、語末子音のない場合、「-라메」で表す。なお、書き言葉では、「-이랑・랑」も用いられる。

【17】 또 오쇼예・예 (また、いらしてくださいね) / 또 오세요 ∅.

\*話し言葉では、聞き手に対する親近感を表す場合、よく文末に「-예」や「-예」を用いる。

【18】 오늘 덥다우 (今日暑いね) ? / 오늘 덥다 그렇지?

\*話し言葉では、聞き手に対して同意を求める場合、よく文末に「-응」を用いる。

### Ⅲ-2. 接続形語尾

【1】 하구서리 (してから) / 하교 (서) )

\*話し言葉では、「하교 (서)」の代わりに通常「하구서리」を用いる。

【例】 밥 먹구서리 가자 (ご飯食べてから行こう) .

【2】 하메 (서리)・하멘서 (리) (しながら) / 하면서 : [ 먹으메 (서리)・먹으멘서 (리) ; 놀메 (서리)・놀멘서 (리) ]

\*話し言葉では、「하면서」の代わりに通常「하메 (서리)」や「하멘서 (리)」を用いる。

【例】 가메 말하자 (歩きながら話そう) .

【3】 할라 (しに) / 하러 : [ 먹을라 ; 놀라 ]

\*話し言葉では、「하러」の代わりに「할라」を使う。

【例】 밥 먹을라 가자 (ご飯食べに行こう) .

【4】 하무 (문)・하므 (문) (すれば) / 하면 : [ 먹으무 (문)・먹으므 (문) ; 놀무 (문)・놀므 (문) ]

\*話し言葉では、「하면」の代わりに通常「하무 (문)」や「하므 (문)」を用いる。

[例] 가 오무 좋겠다 (あの人来ればいいな) .

[5] 하이까 (すると・したら) / 하니까 : [ 먹으이까 ; 노이까 ]

\*話し言葉では、「먹다」のように語末子音のある場合、「먹으니까」の代わりに通常「먹으이까」を用いる。ただし、語末子音のない場合や、語末子音が「ㄷ」の場合、若者の間では「하이까」や「노이까」は使われず、通常「하니까」や「노니까」を用いる。

[例] 옷으 마이 입으이까 아이 춥다. (服をたくさん着たら、寒くない) .

[6] 한나래 (느) (すれば・するなら) / 하면・한다면 : [ 먹은나래 (느) ; 논나래 (느) ]

\*話し言葉では、「하면・한다면」の意味で、「한나래 (느)」をよく用いる。なお、これは、「하는 날에 (느)」が文法化したものであるが、若者の間で好んでよく用いられている。

[例] 이거 먹은나래느 베이 인차 낫는다 (この薬を飲めば、病気はすぐ直る) .

[7] 한다메 (したら) / 한 다음에・하거든 : [ 먹은다메 ; 논다메 ]

\*話し言葉の場合、「한 다음에」や接続形語尾の「하거든」は通常「한다메」で表される。

[例] 차 온다메 난데 알려 주오 (車が来たら、私に知らせてください) .

[8] 하는데 (するが) / 하지만 : [ 먹는데 ; 논는데 ]

\*話し言葉の場合、通常「하지만」は用いられず、「하는데」を使う。

[例] 눈이 오는데 아이 춥다 (雪が降ってるが、寒くない) .

[9] 할 마이 (するだけ) / 할 만큼

\*話し言葉の場合、「할 만큼」は通常「할 마이」で表されるが、「할 만큼」を使うこともある。

[例] 먹기 싶을 마이 먹어라. (食べたいだけ食べなさい) .

[10] 했으람 ( 좋겠다 ) ( したら良いな ) / 했으면 좋겠다

\*韓国語の「했으면 좋겠다」は、「했으람 좋겠다」で表されるが、「 좋겠다」は、省略されることが多い。

[例] 저 옷으 쌌으람 ( 좋겠다 ) (あの服、買えたらなあ) .

[11] 하길래서 ( するために ) / 하기 위해서

\*韓国語の「하길래」は、[目的]の意味は表せないが、延辺朝鮮語では、咸鏡北道方言と同様に可能で、「하기 위해서」の意味をも表す<sup>(14)</sup>。ただし、この[目的]の意味を表す場合、必ず「-서」の付いた「-길래서」の形態で用いられる。「하기 위해서」は、通常使われない。

[例] 일본에 류학 가길래서 열심히 공부했다 (日本に留学するために、一所懸命勉強した) .

[12] 하길래 ( するので ) / 하기 때문에

\*韓国語の「하길래」は、肯定文の場合、その後項は話し手の[意志]を表すが、延辺朝鮮語では、咸鏡北道方言と同様に、[意志]を表さない場合でも可能で、「하기 때문에」の意味をも表す。このように前項が後項の[理由]を表している場合、必ず「-서」の付かない「-길래」の形態で用いられる。「하기 때문에」は、通常使われない。

[例] 가 공부 아이 했길래 시험에서 떨어졌다(あの人は勉強しなかったので、試験に落ちた)。

【13】 하길래 (するから) / 하니까

\*韓国語の「하길래」は、後項に命令文や勧誘文は来ないが、延辺朝鮮語では、咸鏡北道方言と同様に可能で、「하니까」の意味をも表す。この場合も【12】と同様に、必ず「-서」の付かない「-길래」の形態で用いられる。

[例] 집이 크길래 맘달 놀아라(家は広いから、好きなように遊びなさい)。

【14】 하던 (등) 게 (していたが) / 하더니

\*「하더니」は、書き言葉では使っても、話し言葉では使わず、代わりに「하던 (등) 게」を用いる。また、この場合、後項には「하드라」や「했다」は使うが、「했됐다」は用いない。これは、「하던 (등) 게」の後項は、話し手にとって未知の事態であるため、もっぱら既知の事態を表す「했됐다」とは矛盾するからであろう。

[例] 아침에느 비 오던 게 오후에느 눈이 오드라(朝は雨が降っていたが、午後は雪が降って来た)。

【15】 항 게 (したら) / 했더니 : [떡응 게 ; 농게]

\*「했더니」は、書き言葉では使っても、話し言葉では使わず、代わりに「항 게」を用いる。また、この場合、「하던 (등) 게」と同様な理由で、後項には「하드라」や「했다」は使うが、「했됐다」は用いない。

[例] 엄한테 말항 게 성 내시드라 (母に話したら、怒られた)。

【16】 하다 나이 (까) (してたら) / 하다 보니까

\*「하다 보니까」は、「하다 나이 (까)」で表す場合も多い。<sup>(17)</sup>また、この場合、「하던 (등) 게」と同様な理由で、後項には「하드라」や「했다」は使うが、「했됐다」は用いない。

[例] 열심히 공부하다 나이 (까) 열두 시가 넘었드라 (一所懸命勉強してたら、12時過ぎてたよ)。

【17】 하다 나므 (문) ・ 나무 (문) (してると) / 하다 보면

\*「하다 보면」は、「하다 나므 (문)」や「하다 나무 (문)」で表す場合も多い。また、この場合、後項には「할게다」や「하드라」、「했다」は使うが、「하던 (등) 게」と同様な理由で、「했됐다」は用いない。

[例] 열심히 공부하다 나름 성적이 오를까다 (一所懸命勉強してれば、成績上がるだろう) .

### Ⅲ-3. 終止形語尾

[1] 하오 (します\*以下の見出しの延辺朝鮮語の現在形や過去形は動作の[進行]の意味を表す場合もあるが、本稿では煩雑さを避けるために、便宜上「する」、「した」で表示する) / 해요. [먹소; 노오.]

\*「해体」や「해요体」は使われず、「해」の代わりに「한다」、「해요」の代わりに「하오」を用いる。最近は、若い女性はあまり使わず、若い男性がよく使う。ただし、「해요体」よりは丁寧さが低いが、[尊重]の意を表すために、先輩やあまり親しくない後輩などに使われる。また、先生や親には使えず、その場合には「합다」を用いる。

[例] 내 요즘 영어 공부하오 (私、最近英語の勉強しています) .

[2] 한다 (하다) (する) / 하네.

\*[詠嘆]を表す「하네」は通常使わず、代わりに「한다」や「하다」を用いる。ただし、「하(는)구나」は、若い朝鮮族も使う。

[例] 어? 누이 온다 (ん? 雪降って来た) .

[3] 한다 (하다) (するんだ) / 하거든.

\*[根拠]を表す「거든」は通常使わず、代わりに「한다」や「하다」を用いる。

[例] A ; 니, 어제 아이 놀라 가니 (あなた、なんで遊びに行かないの) ?

B ; 내, 네리 시험 친다 (私、明日試験受けるんだもの) .

[4] 합다 (します) / 합니다. [먹습다; 놀다.]

\*「합니다」は、「-니-」が脱落して「합다」のように発音される。韓国語でも、くだけた会話で早口で話す場合、「합다」のように発音される場合がある。

[例] 학교 갑다 (学校行きます) .

[5] 합다 (しますか) / 합니까? [먹습다; 놀다?]

\*「합다」が、語末の抑揚を上昇調にして、疑問の意味で使われる場合がある。意味は、ほぼ「합니까?」と同じである。

[例] A ; 그렇게 입어 아이 칩습다 (そんな格好で寒くないですか) ?

B ; 아이, 아이 칩소 (いや、寒くないです) .

[6] 합 (항) 까 (しますか) / 합니까? [먹습 (승) 까; 놀 (농) 까?]

\*「합니까?」は、「-니-」が脱落して「합 (항) 까?」のように発音される。韓国語でも、くだけた会話で早口で話す場合、「합 (항) 까?」のように発音される場合がある。

[例] 학교 갑까 (学校行きますか) ?

【7】 하질・하지무 (므・믄) (するよ) / 하지 뒤.

\* 「하질・하지무 (므・믄)」は、韓国語の「하지 뒤」の意味で用いられる。聞き手が年上であっても、親などの場合は使えるが、先生などの場合は失礼になるので使わない。ただし、「가질 예 (예)」のように親近感を表す「-에 (예)」を付けると可能になる。

【例】 A ; 오늘 놀라 아이 가개 (今日、遊びに行かない) ?

B ; 그래, 놀라 가질 (そうだな、遊びに行くよ) .

【8】 한단말 (다) (するんだ) / 한단 말이야. [먹는단말 (다) ; 논단말 (다) .]

\* 「한단말 (다)」は、[強調]に使い、[引用]には用いない。また、「-다」が省略されて「-말」のように用いられることも多い。上称形として「한단 말입니다」がある。

【例】 그거 내 한단말다 (それは、僕がやるんだ) .

【9】 해 (したか) / 했니?

\* 話し言葉で、「해」が語末の抑揚を上昇調にして過去を表す用法があるが、疑問文にだけ使って肯定文には用いない。この場合、「해요?」は使わない。上称形として「했습니까?」があるが、「했습니까?」も使う。

【例】 A ; 니 어제 공부해 (あなた、昨日勉強したの) ?

B ; 응, 했다 (うん、したわよ) .

【10】 했됐다 (した) / 했었다.

\* 「했었다」は書き言葉では使うが、話し言葉では「했됐다」を用いる。上称形として「했됐습니까?」がある。

【例】 나두 작년에느 그런 일으 했됐다 (私も、去年はそんなことをしていた) .

【11】 했대 (したのか) / 했었니?

\* 話し言葉で、「했대」は、語末の抑揚を上昇調にして、韓国語の「했었니?」の意味を表す。上称形として「했됐습니까?」があるが、「했됐습니까?」も使う。

【例】 니 점심 먹었대 (あなた、お昼ご飯食べたの) ?

【12】 했덩거 (すれば良かったのに) / 할걸.

\* 話し手自身の[後悔]の意を表す場合、「할걸」の他にも「했덩거」を用いる。

【例】 공부 열심히 했덩거 (一所懸命勉強すれば良かったのに) .

【13】 하개 (します) / 하겠습니까 (意志) .

\* 話し手自身の[意志]を明確に言う場合、親しい目上や年上の者に対しては、

「하겠다」よりは親近感の強い「하개」を使う<sup>(18)</sup>。ただし、「하겠습니까」よりは敬意が落ちる。

【例】 내 무서워서 혼자 못 가개 (私、怖くて一人では行けません) .

【14】 하겠구나 (していた・するのよ) / 하더라・하는 거 있지.

\*韓国語でなら、「하더라」や「하는 거 있지」などが用いられる環境で、好んで韓国語では本来「推量」を表す「하겠구나」が使われる。

この形態は、若い世代でよく使われているが、年配者は使わないという報告から推して、延辺で新たに生じた用法と思われる。なお、延辺では、「하드군・하드구나」は、通常使われない。

[例] 아께 식당에 가 봉게 철이 령맨 먹겠구나 (さっき食堂に行ったら、チョリ冷麵食べてたよ) .

[例] A ; 침실에서 며 해 (寢室でなにしていたの) ? 어때까지 (今まで) .  
B ; 온넬 물어보겠구나 (しつこく訊くのね) .

【15】 하기오 (しましよう) / 합시다.

\*先輩や親しくない後輩などに対して使うが、親しい後輩などに対しては韓国語と同様に「하자」を使う。

[例] 이 일으 내 하기오 (この仕事は、私がしましよう) .

【16】 하기쇼 (しましよう) / 합시다.

\*前述した「하기오」と同じ意味だが、「하기오」より丁寧な表現で目上の人に用いる。

[例] 네리 령행 가기쇼 (明日、旅行に行きましよう) .

【17】 하기 싯다 (したい) / 하고 싯다.

\*「하고 싯다」の代わりに、「하기 싯다」を用いる。上称形として「하기 싯습다」がある。

[例] 난 일본 가기 싯다 (私は、日本に行きたい) .

【18】 하경다 / 하고 싯다.

\*「하경다」は、通常動詞「먹다」にだけ接続して「먹고 싯다」の意味を表すが、若者はあまり使わない。上称形として「하경습다」がある。

[例] 지금 곶이 영 먹경다 (今、とてもミカンが食べたい) .

【19】 하재 (するんじゃないの) / 하지 앓아・하는 게 아니냐 ?

\*異形態として「하재이야?」があるが、「하재<sup>(19)</sup>?」よりも話し手の確信度が高くなる。また、先輩や、あまり親しくない後輩に対しては、丁寧な表現として「하재오?」がある。上称形として、「하쟁 (경) 까?」と「하경다?」があるが、両者とも同じ「하지 앓습니까・하는 게 아닙니까?」の意味である。なお、これは延辺で新たに生じた形式のものと思われる。

[例] 가 지금 한국어 공부 하재 (あの、今韓国語の勉強してゐるんじゃないの) ?

【20】 하개 (するか) / 하겠니?

\*【13】と同形の「하개」の語尾を上昇調にする<sup>(20)</sup>と、聞き手の意向を尋ねる「하겠니?」の意味になる。上称形として「하겠습까?」と「하겠습다?」

がある

[例] 오늘 저녁에 공부 가치 아이 하개(今日の夕方、一緒に勉強しない)?

【21】해래(しようか) / 할까? [떡어래; 놀아래? \*ただし、「오다」は「오래?」]

\*聞き手に対して話し手の行動を提示して、聞き手の了解を求める意味を表す。上称形として、「해랑(람)까?」と「해람다?」があるが、両者とも同じ「할까요?」の意味である。なお、これは延辺で新たに生じた形式のものと思われる。

[例] 내 저녁의 준비 해래(私、夕食の準備しようか)?

【22】해래(렘) (したら) / 하렘 [떡어래(렘); 놀아래(렘).]

\*聞き手に対する話し手の[要望]を表す。対等の相手に要望するのであるから、上称形は使わない。なお、これは延辺で新たに生じた形式のものと思われる。

[例] 시험인데 공부 좀 해래(試験だから、ちょっとは勉強したら) .

【23】하갠(何々か解る) / 하게?

\*疑問詞とともに用いられ、話し手にとっては既知の事態であるが、聞き手にとっては未知の事態を、話し手が聞き手に[推測]させることを表す。

[例] A ; 내, 아침에 머 먹엇갠(私、朝何食べたか解る) ?

B ; 밥 먹엇겠지무(御飯食べたんでしょ) .

【24】하까(しようか) / 할까? [떡으까; 노까?]

\*「할까?」の「ㄷ」が脱落して「하까?」と発音される場合がある。聞き手に話し手の行動を提示して聞き手の[同調]を求める意味を表す。韓国語でも、くだけた会話で早口で話す場合、「하까?」のように発音される場合がある。上称形として、「하겠습까?」と「하겠습다?」がある。

[例] 야, 가치 공부하까(ちょっと、一緒に勉強しようか) ?

【25】하께(するよ) / 할께. [떡으께; 노께.]

\*「할께」の「ㄷ」が脱落して「하께」と発音される場合がある。話し手の[意志]を表す。上称形として、「하겠습다」がある。

[例] 이 일으 내 하께(この仕事、僕がやるよ) .

【26】하께(するだろう) / 할 거야(推量). [떡으께; 노께.]

\*【25】と同形の「하께」の「ㄷ」を、下降から上昇調で発音すると、[意志]ではなく[推量]の意味を表すようになる。また、上称形としては、「하겠습다」がある。

[例] 가 지금 공부하께(あの人、今勉強してるだろう) .

【27】할(하) 께다(するだろう) / 할 거야(推量). [떡을(으) 께다; 놀(노) 께다.]

\*[推量]を表す「할 거야」の代わりに、「할(하) 께다」を使う。また、上称形として「할(하) 깝다」がある。



[例] 가 지금 공부할꺼다 (あの人、今勉強してるだろう) .

【28】 할 (하) 꺼지 (すれば良かったのに) / 할 것이지. [먹을 (으) 꺼지 ; 놀 (노) 꺼지. ]

\* 「할 것이지」の意味で、「할 (하) 꺼지」を用いて、話し手以外のものに対して「そうすれば良かったのに」という意味を表す。親などのように親しい年上の者には使えるが、先生などに対しては失礼になるので使わない。

[例] 열심히 공부할꺼지 (一所懸命勉強すれば良かったのに) .

【29】 하데 (していたか) / 하던가?

\* 「하데?」は、通常は疑問文だけに使って、韓国語のように肯定文には用いない。年下や目下の聞き手の直接知覚した過去における未知の事態に対する直観的認識を尋ねたりする場合に用いられる。

[例] 가 어제 떠이라 하데 (あの人、昨日何て言ってた) ?

【30】 합데 (しました) / 하더라고요・하던가요? [먹습데 ; 놀데. (?) ]

\* 「합데」は、同輩や年上・目上の聞き手に対して、肯定文と疑問文の両方に使われる。話し手の直接知覚した過去における未知の事態に対する直観的認識を表したり、あるいは聞き手の直接知覚した過去における未知の事態に対する直観的認識を尋ねたりする場合に用いられる。ちなみに、延辺朝鮮語では、「-드라」は使うが、「-드라구」は用いない。ただし、聞き返す場合には「-드라구?」を用いる。

[例] A ; 가 공부 열심히 합데 (あの人、一所懸命勉強しましたか) ?

B ; 야, 합데 (ええ、しました) .

【31】 합데다 (しました) / 하더라고요. [먹습데다 ; 놀데다. ]

\* 年上や目上の聞き手に対して、自分が直接知覚した過去の出来事について述べる場合は、「합데」ではなく、「합데다」が良く使われる。「합데다」は、韓国語の「하더라고요」と同様に、話し手の過去における未知の事態に対する直観的認識を表している。

[例] 가 도서관에서 공부합데다 (あの人、図書館で勉強しました) .

【32】 합데까 (しましたか) / 하던가요? [먹습데까 ; 놀데까?]

\* 年上や目上の聞き手に対して、相手が直接知覚した過去の出来事について尋ねる場合は、「합데?」ではなく、「합데까?」が良く使われる。韓国語の「하던가요?」と同様に、聞き手の過去における未知の事態に対する直観的認識を尋ねたりする場合に用いられる。

[例] 가 도서관에서 공부합데까 (あの人、図書館で勉強しましたか) ?

\* ちなみに、従来、延辺朝鮮語の特徴としてよく挙げられていた、以下のような終止形語尾は、冗談などの場合に使う可能性のある「합두 (둥) (しますか?)」と「하 (음) 꾸마 (します・しますか?)」以外は、現在の朝鮮族の学生の間では、ほとんど使われないう。

【33】 합지 (비) (시마스\*語調によっては [疑問]、[命令]、[勧誘]) / 하지요. (?) [떡습지 (비) ; 놀지 (비) . (?) ]

【34】 합두 (등) (시마스카?) / 합니까? [떡습두 (등) ; 놀두 (등) ?]

【35】 하 (음) 뛰니 (시마시요) / 합시다. [떡 (습) 뛰니 ; 노 (음) 뛰니. ]

【36】 하 (음) 꾸마 (시마스\*語調によっては [疑問]) / 합니다 (합니까?) .  
[떡 (습) 꾸마 ; 노 (음) 꾸마. (?) ]

【37】 합네 (시마스\*語調によっては [疑問]) / 합니다 . [떡습네 ; 놀네. (?) ]

### III-4. 各種の語法

#### 【1】 나 (私) / 저

\*韓国語では、聞き手が話し手よりも年上や目上の場合、自称には「나」ではなく「저」を使うが、延辺朝鮮語では区別せず、「나」を用いる。これは、「우리」と「저희」の場合も同様に「우리」を使う。ただし、学校で先生に対しては「저」を使うが、「저희」は使わない。

[例] 아버지, 그 가방 내 들구 가겠습다 (お父さん、そのカバン私が持って行きます) .

#### 【2】 선생랑게 (先生ともあろう者が) / 선생이라는 사람이

\*韓国語では、「게 (것이)」を人に対して使うと、通常 [非難] より [輕蔑] の意味を表すが、延辺朝鮮語では [輕蔑] より [非難] の意味で良く用いられる。

[例] A ; 선생랑게 어제 저러게 따라니 (先生ともあろう者が、どうしてあんなことが言えるのか) ?

B ; 내 말이 (그 말이다) …… (まったくだ) .

#### 【3】 실꾸 (載せて) / 실고

\*韓国語では、「실다」、「견다」などは「ㄷ」変格用言であるが、延辺朝鮮語の話し言葉では、咸鏡北道方言や慶尚道方言・嶺東方言と同様に、語幹末子音が「ㄷ」ではなく声門閉鎖音[ʔ]を伴った「ㄷ」<sup>(21)</sup>として現れる場合がある。そのため、活用は「실꾸、실찌、실는다、실으니、실어라」のように

一見正格用言のそれと同様になる<sup>(21)</sup>。ただし、全ての「ㄷ」変格用言に当てはまるわけではなく、「듣다」や「묻다」などは、通常韓国語と同様に「ㄷ」変格用言のままである。

[例] 나는 그 짐으 차에다 실꾸 날랐다 (私は、その荷物を車に載せて運んだ) .

【4】다녔다 (通った) / 다녔다.

\*韓国語の動詞や形容詞の活用形の「-여」は、延辺朝鮮語の話し言葉では、咸鏡北道方言と同様に、「-에」に変化する。

[例]기차 타구 학교 다녔다 (汽車に乗って学校に通った) .

【5】사망되다 (死亡する) / 사망하다.

\*韓国語では、「사망」は「하다」とだけ結び付いて「사망하다」となるが、延辺朝鮮語では、年上や目上の人が死亡した場合、「사망」は「하다」だけではなく、「되다」とも結び付いて「사망되다」の形式で用いられることが多い。

[例]가 작년에 갑자기 사망됐다 (あの人、昨年急に亡くなった) .

【6】옷으 씻다 (服を洗う) / 옷을 빨다.

\*韓国語では、「服を洗う」という場合、「빨다」を使うが、延辺朝鮮語では、通常「씻다」を使う。

[例]오늘 바지랑 씻었다 (今日、ズボンなどを洗濯した) .

【7】감다 (頭を洗う) / 감기다.

\*韓国語では、「감다」や「씻다」のような[再帰性]を有する動詞の表す動作が自分ではなく他者に向かう場合、「감기다」や「씻기다」のような[非再帰性]を表す動詞を使う。

しかし、延辺朝鮮語では、動作が他者に向かう場合でも、「감다」や「씻다」のように動作が自分に向かうことを表す[再帰性]の動詞を用いることがある。ただ、最近の若者は「감기다」のように[非再帰性]の動詞を使うとのことである。

[例]엄마 아 머리르 감아 줬다 (母親が子供の頭を洗ってやった) .

\*これは、漢字語動詞である「모까하다(体を洗う) / 목욕하다」の場合も、同様な状況で[非再帰性]の動詞「모까시키다」の他にも、[再帰性]の動詞「모까하다」用いることがある。

[例]엄마 아르 모까해 줬다 (母親が子供の体を洗ってやった) .

【8】오나! (来い!) / 오너라!

韓国語では、「오다」の下称の命令形として「오너라」を用いるが、延辺朝鮮語では「오나」を用いる。

[例]이기 오나 (こっちへ来い) !

【9】어제 있은 회의 (昨日あった会議) / 어제 있었던 회의

\*韓国語では、通常「후」、「뒤」、「지」以外では連体形の「있은」は使われないが、延辺朝鮮語では、咸鏡北道方言と同様に、それら以外の場合でも使用可能である。

[例]오늘 있은 회의에서 결정됐다 (今日あった会議で決まった) .

【10】열 잘하다 (大変上手だ) / 아주 잘하다.

\*韓国語では、「영」は否定文に使われるが、延辺朝鮮語では、話し言葉で肯定文にも用いられる。

[例] 가 노래 영 잘한다 (あの人、歌が大変上手だ) .

【11】 어째 (なぜ) / 왜?

\*韓国語では、[理由]を問う場合、「왜」を使うが、延辺朝鮮語では、咸鏡北道方言と同様に「어째」を用いる。

[例] 어째 니 먼저 물어 아이 바 (なんで、お前が先に聞いてみなかったんだ) ?

【12】 아이 하다 (しない) / 안 하다.

\* [否定]を表す場合、「안」は使わず、代わりに「아이」を用いる。

[例] 저녁 아이 먹었다 (夕食を食べなかった) .

【13】 해 아이 보다 (しない) / 안 해 보다.

\*韓国語とは違って、咸鏡北道方言と同様に[否定]を表す「아이」が本動詞と補助動詞との間に置かれる<sup>(23)</sup>場合がある。

[例] 그거는 물어 아이 봤다 (そのことは訊かなかった) .

【14】 해 못 보다 (出来ない) / 못 해 보다.

\*韓国語とは違って、咸鏡北道方言と同様に[不可能]を表す「못」が本動詞と補助動詞との間に置かれる<sup>(24)</sup>場合がある。

[例] 일본에 가 못 봤다 (日本に行ったことがない) .

【15】 해 나다 (～になる・～してくる) / 해 지다.

\*状態の変化を表す「해 지다」の代わりに「해 나다」が用いられる。

[例] 머리가 점점 팽해 난다 (頭が、だんだんぼうっとしてくる) .

【16】 하는 (거) 가 툼 (투루) 하다 (するようだ) / 하는 것 같다.

\*明白な根拠のない推量の場合、話し言葉では「하는 것 같다」は使わず、通常咸鏡北道方言に由来する「하는 (거) 가툼 (투루) 하다」を用いる。この場合、「거」は省略されるのが普通である。

なお、上称形は「하는 (거) 가툼 (투루) 함다」を使うが、「하는 (거) 가툼 (투루) 함까?」は用いない。ちなみに、「하는 듯하다」や「하는 듯싶사」は使われない。

[例] 비 오는 (거) 가 툼 하다 (雨降ってるようだ) / 비 오는 것 같다.

【17】 하는 매 다 (するみたいだ) / 하 나 보 다 ・ 하 는 모 양 이 다.

\*明白な根拠のある推量の場合、書き言葉だけではなく話し言葉でも「하나 보다」は使わず、通常「모양」の語末子音「ㅇ」が脱落し、母音の縮約した「하는 매다」を用いる。ただし、書き言葉では、「하는가 보다」も用いる。また、咸鏡北道方言に由来する「하는 모애다」は年配の者は使う場合もあるが、学生は使わないとのことである。

一方、韓国語の場合、「하는 모양이다」は、通常書き言葉に使い、話し言葉には、通常「하나 보다」を用いる。この「하는 매다」は、本来の咸鏡北道方言には見られず、延辺において独自に発達したもののようと思われる。なお、上称形は「하는 뻬다」を使うが、「하는 뻬까?」は用いない。

【例】 비 오는 매다 (雨降ってるみたいだ) .

【18】 하는 매 (するって言うじゃない) / 한다고 하는 거 있지.

\* 第三者の言動に対して不満や疑念を持って、からかい気味に聞き手に話す場合、話し言葉では「하는 매」を使うことがある。この「하는 매」と類似した表現は、咸鏡北道方言には見られず、延辺において独自に発達したもののようと思われる。なお、「하는 매」の意味特性上、上称形は用いられない。

【例】 지금 만나자니까 가 시가이 없는 매 (今会おうと言ったら、あの人、時間がないって言うじゃない) .

【19】 하는 (할) 새하다 (するふりをする) / 하는 (한) 체 (척) 하다.

\* 延辺朝鮮語では、韓国語の「하는 (한) 체 (척) 하다」は、通常「하는 (할) 새하다」で表される。ただし、「한 새하다」は用いられない。

【例】 가 아께 가치 갈 새하드라 (あの人、さっき一緒に行くふりしてたのよ) .

【20】 하기 바쁘다 (しにくい) / 하기 어렵다.

\* 「하기 어렵다」は書き言葉でも使わず、もっぱら「하기 바쁘다」を用いる。

【例】 이 약이 영 먹기 바쁘다 (この薬は、大変飲みにくい) .

【21】 하기 힘 (헐하) 다 (しやすい) / 하기 쉽다.

\* 「하기 쉽다」は書き言葉では使うが、話し言葉では、咸鏡北道方言に由来する「하기 힘 (헐하) 다」を用いる。

【例】 이 약이 영 먹기 힘다 (この薬は、大変飲みやすい) .

【22】 할게든 하기만 못하다 (～するより～する方がました) / 하는 것보다 하는 게 낫다.

\* 延辺朝鮮語では、「～するより～する方がました」のように、二つの行動を比較して一方の行動の方が良いということ明示する場合、「할게든 하기만 못하다 (못하니?)」を用いる。

【例】 한어계 갈게든 일어계 가기만 못하다. (漢語系に行くよりは日語系に行く方がました) .

#### IV. おわりに

以上見てきたように、延吉市の朝鮮族の学生たちは、話し言葉の語彙面に

において、現在でも先祖たちの大多数が使っていた咸鏡北道方言の単語を日常的に用いており、同時に朝鮮族の学校教育で習得した文化語も少なからず使っている。一方、その親や祖父母たちが普段使っていたと思われる日本語やロシア語は、それらの国の影響力が減少するとともに次第に使われなくなってきた。

代わりに、中国の共通語である普通語を朝鮮語の漢字音読みにして用いたり、また最近の傾向として、普通語の原音をそのまま模して使う場合が増えて来ている。さらに国際的に強い影響力を持つ英語や、韓国との交流の深化による韓国語の使用も増加している。

話し言葉の文法面では、依然として咸鏡北道方言の特徴を残した文法形式を多く用いてはいるが、使われなくなった形式も少なくない。一方で、延辺で独自に発達したと思われる文法形式も散見される。

また、最近では日常的に韓国のテレビを視聴しているので、韓国語の文法形式を用いる場合も増加して来ている。さらに、中国語との二重言語生活という環境から、中国語を直訳したような表現も増えて来ている。

将来的に、延辺の朝鮮族の朝鮮語は、韓国語と中国語の強い影響の下に、次第にその様相を変えていくものと思われる。

## 《註》

(1) 金泰均 (1986) pp. 16~19.

(2) 朝鮮族のインフォーマントは、主に延辺大学の日語系の学生に依頼したが、それ以外の学生も含まれている (2015年5月1日現在)。A (男子; 延吉市出身で、2006年6月に日語系を卒業して現在は東京の会社に勤務)、B (女子; 龍井市出身で、日語系入学以来延吉市に在住して2007年6月に卒業)、C (女子; 汪清県出身で、日語系入学以来延吉市に在住して2007年6月現在日語系三年生)、D (女子; 図們市出身で、日語系入学以来延吉市に在住して2007年6月現在日語系三年生)、E (女子; 延吉市出身で、継続して延吉市に在住して2007年6月現在日語系三年生)、F (女子; 延吉市出身で、継続して延吉市に在住して2007年6月現在日語系三年生)、G (男子; 安図県出身で、7歳から延吉市に在住して2007年6月現在漢語教育系三年生)、H (女子; 龍井市出身で、漢語教育系入学以来延吉市に在住して2007年6月現在二年生)、I (女子; 汪清県出身で、師範学院入学以来延吉市に在住して2007年6月に卒業)、J (男子; 延吉市出身で、長春市にある東北師範大学に入学するまで継続して延吉市に在住し、2006年6月に法学系を卒業)、K (女子; 和龍市出身で、1989年から2003年に延辺財經学校を卒業するまで継続して延吉市に在住。2003年に来日して2006年4月に熊本学園大学東アジア学科に入学。20013年3月に同大学院修士課程修了)、L (男子; 安図県出身で、小学校から延吉市に在住して2011年6月現在日語系四年生)、M (女子; 延吉市出身で、継続して延吉市に在住して2011年6月現在日語系四年生)、N (女子; 延吉市出身で、継続して延吉市に在住して2011年6

月現在日語系碩士三年)、O(女子;延吉市出身で、繼續して延吉市に在住して2013年12月現在日語系4年生)、P(女子;延吉市出身で、繼續して延吉市に在住して2013年12月現在日語系4年生)、Q(女子;延吉市出身で、繼續して延吉市に在住して2013年12月現在日語系4年生)、R(女子;延吉市出身で、繼續して延吉市に在住して2015年5月現在日語系4年生)、S(女子;延吉市出身で、繼續して延吉市に在住して2015年5月現在日語系4年生)、T(女子;延吉市出身で、繼續して延吉市に在住して2015年5月現在日語系4年生)

また、韓国人のインフォーマントは、主に大田大学校からの交換留学生に依頼したが、それ以外の韓国人も含まれている(2015年5月1日現在)。U(男子;大田市出身で、2006年3月から2007年2月まで交換留学生として熊本学園大学に在籍)、V(女子;清州市出身で、2006年3月から2007年2月まで交換留学生として熊本学園大学に在籍)、W(女子;大邱市出身で、18歳の時大田市に移住し、2007年3月から2008年2月まで交換留学生として熊本学園大学に在籍)、X(女子;大邱市出身で、2013年3月から2014年2月まで交換留学生として熊本学園大学に在籍)、Y(女子;京畿道安城市出身で、1995年に韓国中央大学校会計学科を卒業)、Z-1(女子;光州市出身で、朝鮮大学校日本語科を卒業。2012年4月から熊本大学文学部に在籍)、Z-2(女子;京畿道龍仁市出身で、2015年3月から2016年2月まで交換留学生として熊本学園大学に在籍予定)、Z-3(男子;大邱市出身で、10歳の時公州市に移住し、2015年3月から2016年2月まで交換留学生として熊本学園大学に在籍予定)

(3) 金東昭(2003) p. 256.

(4) 同上 p. 259.

(5) 李得春(2003) p. 586.

(6) 林成虎(1986) pp. 178~182.

(7) 実際、熊谷明泰(1997)で、朝鮮族学生との面接調査から得られた日本語系の借用語139語に関して、2015年の5月に三人の朝鮮族のインフォーマントに質したところ、六割弱の82語は知らないとの回答であった。

(8) 大村益夫(2003) pp. 298~299.

(9) 金泰均(1986) pp. 22~23.

(10) 임춘영(2005)では、延辺朝鮮語に見られる音韻的特長として、平音の閉鎖音と破擦音の有気音化を指摘しており、その一例として「숨키다(숨기다)」を挙げている(p. 26)。

(11) 趙義成(2007) pp. 209~210.

(12) 나라리사(2002)では、カザフスタンの朝鮮族(\*高麗人)の朝鮮語においても、「-조차」の代わりに「-도」が使われていることを指摘している(pp. 19~20)。

(13) 趙義成(2007) p. 210.

(14) 최명옥(他)(2002) pp. 131~132.

(15) 同上.

(16) 同上.

(17) 同上 p. 166. で、六鎮方言では、韓国語の「-다 보니」の意味で「-다 나니」が使われていることを指摘している。

(18) 곽충구 (2014) でも「하개」に関して同様な指摘がなされている (p. 221)。

(19) 오선화 (2012) では、「하개?」に関して「하잖아?」の意味であると指摘している (pp. 278~283)。

(20) 곽충구 (2014) でも「하개?」に関して同様な指摘がなされている (pp. 226~227)。

(21) 이익섭 (他) (1997) pp. 329~330.

(22) 岸田文隆 (1997) pp. 241~242.

(23) 최명옥 (他) (2002) p. 176.

(24) 同上 p. 176.

(25) 방채암 (2008) では、この「하는 때」について、「하는 때」として言及している。ただ、방채암は、この「하는 때」を「하는 모양이다」の単なる縮約形と見ていて、独自の意味を持つ形態とは見ていない (p. 24; 註 42)。一方、신현숙 (2013) では、「하는 때」を一応「하는 모양이다」に由来すると見ているが、それでも「距離感/無関心/拒否感/不快感」などの話し手の心理的態度を表す独自の表現と見ている (p. 162)。

## 《参考文献》

### A. 日本語文献

植田晃次 (2000) 「1990年代中国の朝鮮語規範化と語彙規範の問題点」『言語文化研究』  
26 大阪

梅田博之 (1993) 「延辺朝鮮語の音韻」『言語文化接触に関する研究 6』東京外国語大学  
アジア・アフリカ言語文化研究所 東京

大村益夫 (2003) 「中国の朝鮮族とその言語状況」『中国の朝鮮族文学の歴史と展開』  
緑蔭書房 東京

小倉進平 (1927) 「咸鏡南北道方言」『朝鮮語』昭和2年4月 朝鮮語研究会 京城

岸田文隆 (1997) 「읏은初探」『日本語と外国語との対照研究 IV 日本語と朝鮮語』  
下巻 研究論文編』国立国語研究所 くろしお出版 東京

金東昭 (2003) 『韓国語変遷史』栗田英二訳 明石書店 東京

熊谷明泰 (1995) 「中国における朝鮮語語彙規範の変遷」『県立新潟女子短期大学研究  
紀要』第32集 新潟

熊谷明泰 (1997) 「延辺朝鮮語に残った日本語系借用語」『県立新潟女子短期大学研究  
紀要』第34集 新潟

千恵蘭 (2005) 「中国延辺朝鮮語の聞き手待遇について—「하오 hao 体」を中心に—」『社  
会言語科学』第8巻第1号 社会言語科学会 東京

池鳳花 (2008) 「延辺朝鮮語音借語の語音特徴とアクセントパターンについて」  
『朝鮮学報』第207輯 天理



- 趙義成 (2007) 「慶尚道方言とソウル方言」 『韓国語教育論講座 第1卷』 くろしお出版  
東京
- 平山輝男 (1994) 「北海道方言の性格とその研究の意義」 『日本列島方言叢書①  
北海道方言考』 ゆまに書房 東京
- 宮下尚子 (2007) 『言語接触と中国朝鮮語の成立』 九州大学出版会 福岡
- 林成虎 (1986) 「中国延辺における日本語からの借用語」 『季刊 三千里 一九八六年  
秋』 第四十七号 三千里社 東京
- 林成虎 (1988) 「在中国朝鮮民族のバイリンガリズム」 『言語』 通巻 201 号 大修館  
東京

## B. 朝鮮語文献

- 高紅姫 (2003) 「연변지역 한국어 의문법 연구」 韓国精神文化研究院 韓国学大学院  
博士論文
- 곽충구 (1998) 「동북·서북 방언」 『李翊燮先生 回甲紀念論叢 文法研究와 資料』  
太学社 서울
- 곽충구 (2000) 「六鎮方言의 現状과 研究 課題」 『韓國学論集』 第 34 輯  
漢陽大学校出版部 서울
- 곽충구 (2014) 「육진방언의 종결어미와 청자높임법—중국 조선족자치주 육진방언을  
중심으로」 『方言学』 第 20 号 太学社 파주
- 곽충구·김수현 (2008) 『중양 아시아 한민족의 언어와 생활 —카자흐스탄 알마티』  
太学社 서울
- 곽충구·박진혁·소신애 (2008) 『중국 이주 한민족의 언어와 생활 —길림성 희룡봉』  
太学社 서울
- 国立国語研究院編纂 (1999) 『標準国語大辞典』 斗山東亜 서울
- 김광수 (2009) 『해방 전 중국에서 조선어의 변화 발전 연구』 亦樂 서울
- 김동소·최희수·이은규 (1994) 『중국 조선족 언어연구』 曉星女子大学校  
韓國傳統文化研究所 慶山
- 金文英 (2008) 「조한 언어접촉현상태 연구」 延辺大学碩士論文 中国 延吉
- 김병운 (2000) 「중국조선족의 언어이질 현상과 그 발전적 추세—어휘사용을  
중심으로—」 『語文研究』 33 韓国語文教育研究会 서울
- 김병제 (1980) 『방언 사전』 과학, 백과사전출판사 평양
- 金祥元 (2005) 『現代朝鮮語研究』 延辺大学出版社 中国 延吉
- 김순녀 (1999) 「중국 조선어와 한국어의 어휘비교 연구」 서울大学校碩士論文
- 김영환 (1991) 『조선어 방언학』 김일성종합대학출판사 평양
- 金履浹 (1981) 『平北方言辞典』 韓国精神文化研究院 서울
- 金泰均 (1986) 『咸北方言辞典』 京畿大学校出版局 서울
- 김홍실 (2004) 「연변 지역어의 마침법씨끝 연구」 釜山大学校碩士論文

- 남명옥 (2012) 「함경북도 육진방언의 종결어미 연구」 全南大学校博士論文
- 나라리사 (2002) 「카자흐스탄 고려말의 문법과 어휘에 대한 연구」  
서울大学校碩士論文
- 러스킹·연재훈 (1992) 「중앙 아시아 한인들의 언어—고려말」 『한글』 217 서울
- 리영순 (2003) 「중국 조선어에 대한 외래어의 충격과 규범화작업」 『中国朝鮮語文』  
第 6 号 東北 3 省朝鮮語文事業協議小組機関誌 中国 延吉
- 李红梅 (2006) 「中国朝鮮語词汇使用状况研究—以 80 年代以后报纸中词汇使用为中心」  
延边大学碩士論文 中国 延吉
- 문창덕 (2006) 『현대 조선어 연구』 한국학술정보 과주
- 문형진 (2002) 「中国 朝鮮族 大学生의 民族意識과 朝鮮語教育」 『歷史文化研究』  
第 17 輯 韓國外國語大学校 歷史文化研究所 서울
- 미야지마 미카 (1998) 「연변조선어에 대한 나의 체험」 『中国朝鮮語文』 第六期  
中国朝鮮語文雜誌社 中国 延吉
- 박경래 (2002a) 「중국 연변 조선족들의 모국어 사용 실태」 『社会言語学』 10 卷 1 号  
서울
- 박경래 (2002b) 「중국 연변 조선족들의 언어 태도」 『社会言語学』 10 卷 2 号 서울
- 朴蓮花 (1997) 「中国 朝鮮語 意味變化의 原因研究」 서울시立大学校碩士論文
- 박영순 (1987) 「재중공 한인들의 한국어 이질성에 대하여—문학 작품에 나타난  
이질성을 중심으로—」 『한글』 197 서울
- 박홍택 (2014) 「연변 방언 형용사의 형태·의미 연구—한국어와 대비를 중심으로—」  
東義大学校碩士論文 부산
- 방채암 (2008) 「연변지역의 한국어 종결어미 연구」 大邱大学校碩士論文
- 사회과학원 언어학연구소編纂 (1981) 『현대조선말사전 (제 2 판)』  
과학, 백과사전출판사 평양
- 서정섭 (2005) 「중국 연변 조선어 연구」 『韓國語 意味学』 16 韓國語 意味学会  
서울
- 신현숙 (2013) 「한국어 어휘 정보· {모양/모양이다}」 『韓國語 意味学』 42  
韓國語 意味学会 서울
- 심희섭·리윤규 (1989) 「연변에서의 조선어 방언 분포」 『朝鮮學研究』 第二卷  
延边大学出版社 中国 延吉
- 엄춘영 (2005) 「연변 지역어 연구」 忠南大学校碩士論文
- 엄춘영 (2010) 「연변방언의 조사와 어미 연구」 忠南大学校博士論文
- 오석근 (1993) 「연변 조선족 언어의 특수성에 관한 고찰—연변 조선족의 이중언어생  
활—」 『정신문화연구』 16 卷 2 号 韓國學中央研究院 성남
- 吳仙花 (2012) 「연변지역어의 종결어미 ‘-재’ 에 대한 일고찰」 『方言學』 第 16 号 太  
学社 과주
- 吳仙花·崔盛學 (2014) 「연변지역어 간접 인용 ‘-는/ (으) ㄴ 매’ 에 대하여」  
『方言學』 第 20 号 太学社 과주

- 오춘희(2006) 「육진방언 ‘-k’ u m a’ 의 성격」 『국語学会 第33回 겨울學術大會 発表資料集』 韓國國語学会 서울
- 이기갑(他) (2000) 「중앙아시아 한인들의 한국어 연구」 『한글』 247 서울
- 이기갑(2003) 『국어 방언 문법』 太學社 서울
- 李明姬(2002) 「中国 朝鮮語와 韓國語의 語彙差異 研究」 서울大學校碩士論文
- 이병근·정인호(2003) 「中国 瀋陽 朝鮮語의 特徵—文法·音韻上의 몇몇 특징을 중심으로—」 『韓國學共同研究叢書 1 韓半島와 滿洲의 歷史文化』 서울大學校韓國文化研究所 서울
- 李相揆(2001) 『方言學』 學研社 서울
- 李翊燮(1996) 「중국 延邊 朝鮮族의 母國語 선택」 『李基文教授 停年退任紀念論叢』 新丘文化社 서울
- 李翊燮(他) (1997) 『韓國의 언어』 新丘文化社 서울
- 이장승·신경식(2004) 「중국 조선족의 Code-switching 에 관한 연구—흑룡강성 하얼빈시 성고자진의 조선족 공동체를 중심으로」 2004년 한국사회언어학회 담화인지언어학회 공동학술대회 서울
- 李貞姬(2002) 「남북한과 중국 어휘비교」 忠南大學校碩士論文
- 임형재(2005) 「이중언어 사회를 통해본 중국 조선족 사회의 네트워크」 『歷史文化研究』 特別号 韓國外國語大學校 歷史文化研究所 서울
- 임형재(2006 a) 「중국 조선족 언어·문화 네트워크의 변화와 문화섬의 형성」 『韓民族文化研究』 第18輯 서울
- 임형재(2006 b) 「중국 조선족 대화에서 나타난 표현(expression)형 코드전환」 『韓民族文化研究』 第19輯 서울
- 장승환(2014) 「연변지역 격조사 사용실태 조사연구」 『方言學』 第20号 太學社 과주
- 장의원(1993) 「중국에서의 《한어식 조선말》에 대한 고찰」 『中國朝鮮族文化研究』 延邊大學出版社 中國 延吉
- 全永根(2001) 「중국조선어 어휘사용실태에 대한 연구—신문에서의 어휘사용실태를 중심으로—」 延邊大學碩士論文 中國 延吉
- 전학석(1998) 「연변 방언」 『새國語生活』 第8卷 第4号 겨울 國立國語研究院 서울
- 전학석(2005) 「중국에서의 우리말 방언의 실태 및 특성」 『方言學』 第2号 太學社 서울
- 정신철(2005) 「중국 조선족사회의 당면한 문제와 미래」 『歷史文化研究』 特別号 韓國外國語大學校 歷史文化研究所 서울
- 정향란(2010) 『연변 방언의 곡용과 활용』 한국학술정보 서울
- 崔明玉(2000) 「中國延邊地域의 韓國語研究」 『韓國文化』 25 서울大學校 韓國文化研究所 서울
- 崔明玉(他) (2002) 『함북 북부지역어 연구』 太學社 서울
- 崔允甲(1990) 「중국에서의 조선어의 변화」 『二重言語學會誌』 7 集文堂 서울

- 崔允甲 (1991) 「中国朝鮮語 漢語借用語 問題」 『새국語生活』 第1卷 第4号  
 国立国語研究院 서울
- 崔鶴根 (1987) 『韓國方言辭典』 明文堂 서울
- 한진건 (2000) 『특진 방언 연구』 民族出版社 中国 北京
- 홍만호 (1998) 「우리 언어생활에 대한 서울말의 영향에 대하여」 『中国朝鮮語文』  
 第一期 中国朝鮮語文雜誌社 中国 延吉
- 황대화 (1999) 『조선어방언연구』 遼寧民族出版社 中国 瀋陽
- 황대화 (2001) 『1960년대 육진방언 연구 (자료편)』 亦樂 서울
- 황영삼·이병조 (2005) 「연해주의 고려인, 조선족 및 한국인 : 협력과 갈등」  
 『歷史文化研究』 2005·特別号 第17輯 韓国外國語大學校 歷史文化研究所 서울

### C. 中国語文献

- 李得春 (2003 a) 「朝鮮語中的滿語借詞與同源成分」 『우리 民族語의 研究와 伝播』  
 亦樂 서울
- 李得春 (2003 b) 「展望 21 世紀的中國朝鮮語」 『우리 民族語의 研究와 伝播』 亦樂  
 서울

중국 연길시에 있는 조선족 학생들이 쓰고 있는 조선어  
- 한국어와 대조한 어휘적·문법적 특징에 대해서 -

柴 公也  
熊本学園大学

현재 중국 연길시에 있는 조선족 학생들은, 구어체의 어휘면에 있어, 현재에도 대다수의 조상들이 사용해 온 함경북도 방언의 단어를 일상적으로 사용하고 있고, 동시에 학교 교육에서 습득한 문화어(北朝鮮에서 쓰는 표준어)도 적지 않게 사용하고 있다.

한편 그들의 부모와 조부모들이 평소에 사용해 왔던 일본어와 러시아어는 그 나라들의 영향력이 감소됨에 따라 서서히 사용하지 않게 되었다.

대신 중국 공통어인 보통화(普通話)를 조선어의 한자음 읽기로 해서 사용하거나 또 최근의 경향으로는 중국어의 원음을 그대로 본따서 사용하는 경우도 늘고 있다. 게다가 국제적으로 강한 영향력을 가진 영어의 사용과 한국과의 교류심화에 따른 한국어의 사용도 증가하고 있는 추세이다.

구어체의 문법면에서는 여전히 함경북도 방언의 특징이 남겨진 문법 형식을 많이 사용하고 있지만, 쓰지 않게 된 형식도 적지 않다. 또한 연변에서 독자적으로 발달된 것으로 보이는 문법형식도 다소 존재한다.

최근에는 연변에서 직접적으로 한국의 드라마를 볼 수 있게 되면서 한국어의 문법형식을 그대로 쓰는 경우도 증가하고 있다. 또한 중국어와의 2중 언어생활이라는 환경에 의하여 중국어를 직역한 듯한 표현도 늘고 있다.

앞으로 연변에 있는 조선족들이 쓰는 조선어는 한국어와 중국어의 강한 영향력 사이에서 서서히 그 양상이 바뀌어 갈 것이라고 생각된다.